

十九年何月何日賣捌人何町
村何某賣捌方禁止ニ付返納

一 訴訟用何錢印紙何枚
此額面金何圓

此買戻代金何圓

一 賣藥角形何厘印紙何枚
此額面金何圓

此買戻代金何圓

一 賣藥長形何厘印紙何枚
此額面金何圓

此買戻代金何圓

小計額面金何圓

此買戻代金何圓

合計

一 煙草何匁用何厘印紙何枚
此額面金何圓

此買戻代金何圓

一 煙草角形何厘印紙何枚
此額面金何圓

此買戻代金何圓

計煙草印紙何枚此額面金何圓

全上

全上

此買戻代金何圓

一 証券何錢印紙何枚
此額面金何圓

此買戻代金何圓

計証券印紙何枚
此額面金何圓

此買戻代金何圓

一 約束手形何錢用紙何枚
此額面金何圓

此買戻代金何圓

一 爲替手形何錢印紙何枚
此額面金何圓

此買戻代金何圓

計手形用紙何枚
此額面金何圓

此買戻代金何圓

一 訴訟用何錢印紙何枚
此額面金何圓

此買戻代金何圓

此買戻代金何圓

計訴訟用印紙何枚

此額額金何圓

世買戻代金何圓

一賣藥角形何錢印紙何枚

此額而金何圓

世買戻代金何圓

一賣藥長形何錢印紙何枚

此額面金何圓

此買戻代金何圓

計賣藥印紙何枚

此額面金何圓

此買戻代金何圓

通計諸印紙何枚

此額而金何圓

此買戻代金何圓

○郡第四十七號

明治十九年九月 日

内國稅未納追徵整理順序左之通心得ヘシ

但十六年十一月 丙第三百六十九號及十七年八月丙第二百五號達ハ廢止ス

右訓令ス

郡役所

第一條 郡長ハ甲號様式ノ如ク内國稅未納臺帳ヲ調製スヘシ

第二條 内國稅ノ内事故アリテ翌年度十一月三十日マテニ徵收ヲ完了セサルモノハ其年度ノ未納元額トシ臺帳ニ登記スヘシ但后日追徵シタルトキハ其時ノ臺帳ヘ記載スヘシ

第三條 諸營業及船車不納者旅行又ハ失踪シ其財産ノ所在不分明ニシテ公賣所分ヲ爲シ能ハサルモノハ年々未納臺帳ヘ登記シ置キ而シテ他日本人歸籍又ハ所在發見シタルトキハ未納ニ係ル毎期ノ税金追徵スヘシ但未納當初ヨリ滿三ケ年ヲ經過シ尙完結セサルモノハ其際更ニ處分方稟申スヘシ

第四條 郡長ハ毎年度ノ末ニ於テ乙號書式ノ如ク往年度未納殘金任譯書ヲ製シ四月十五日限リ當廳ヘ送付スヘシ

第五條 郡長ハ臺帳シタル納稅ハ他管ニ移住送籍スルトキハ其都度戶長ヨリ報告セシメ其不納ニ係ル書類ニ就キ丙號書式ニ準シ取調速ニ申出ヘシ

他管内他郡ヘ移住送籍スルトキハ(戶長ヨリ送籍報告ヲナ)不納ニ係ル書類ヲ取續メ其郡長ヘ引繼ヲ爲シ其旨當廳ヘ申報スヘシ

第六條 郡長ハ他管ヨリ引繼ノ書類ヲ當廳ヨリ送付シ又ハ他郡長ヨリ引繼ヲ受タルトキハ之ヲ臺帳ニ記入シ追徵ノ手續ヲ爲シ此旨戶長ヘ通報スヘシ

○郡第九十二號 明治十九年十月廿一日 (様式略ス)

歲入取扱順序第四十一條及第四十八條ニ係ル徵稅類表及歲入報告書ノ訂正及追加スヘキモノアルトキハ左ノ手續ニ依ル可シ

右訓令ス

郡役所

二月十一日
郡百五
十九號
式改正
テ

一 歳入徴税額表及歳入報告書誤記訂正方ハ別紙書式ニ據リ開申スヘシ
一 同上ノ追加報告ニ係ルモノハ本年郡百十五號達第一號及第二號書式ニ據リ何年度第
何號徴税額表追加及何年度何月分第何號歳入報告書追加ト表記スヘシ

原報告額ニ於テ訂正報告ヲ經テ
ルモノハ其訂正額ヲ掲クヘシ

	原報告額	増	減	訂正額
	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘
内 國 税				
地 租				
第 何 期 分				
何 年 何 月 何 日 付 第 何 號				
徴收濟報告書ノ内何々ノ事由				
ニ依リ増(減)額ノ分	100 00 0	50 00 0		150 00 0
總 計	100 00 0	50 00 0		150 00 0

郡 長 官 印

明 治 年 月 日

一郡名ノ頭字ヲ冠スルモノトス
何第何號
此番號ハ徵稅額徵收額下戻額ヲ區別シテ
記載スルモノトス

明治何年何月何日
徵收濟報告書徵稅額(徵收額)(下戻額)訂正表

○用紙當用フールスカツア

何郡役所

第三卷 第三 賦稅

三百六十一

○郡第百二十號 明治廿年四月十九日 郡役所

二十年度以降左ニ掲クル第一部歳入諸報告書類及計算書等ノ書號ハ右種毎ニ郡名ノ頭字ヲ冠シ一年度(會計年度)中通シテ之ヲ記載スヘシ

右訓令ス

- 一 徵稅額報告表 (追加及訂正徵稅額表共)
- 一 徵收濟報告表 (追加及訂正臨時報告書共)
- 一 下戻計算書 (年度内ノ分)
- 一 全 (過年度ノ分)
- 一 豫算増減報告
- 一 缺損補填金計算書

○郡第百七十八號 明治廿年六月十七日 郡役所

租稅官損稟申等明治十八年丙第二百十號ヲ以テ相達置候處更ニ左ノ通改定ス

右訓令ス

甲號

- 一 明治十年第七十九號布告ニ據リ内國稅不納者公賣處分ノ未官損ニ歸シタル金額ハ甲號様式ニ倣ヒ調製シ毎稅納期限後四十日以内ニ稟申スヘシ

乙號

- 一 前項既往年度ニ屬スルモノハ乙號様式ニ倣ヒ前後半年度ニ區分調製シ前半年度分ハ十月十日以後半年度分ハ翌年四月十日以内ニ稟申スヘシ

二十一年十月三十一日
訂正三十三號

一 荒地検査中又ハ非常ノ災害ニ罹リ備荒儲蓄金ヨリ補助或ハ貸與取調ノ類ニシテ納期ニ際シ徴収ス能ハサル分ハ其調査完了時日ノ見込相立該納期已前延納ヲ稟議シ而シテ調査済ノ上第一項處分ニ係ルモノアルトキハ追加官損金額表ヲ以テ開申スヘシ

○ 郡第二百八十號 明治廿年九月廿九日 郡役所

租税計算整理順序左ノ通り相定明治廿年度ヨリ施行ス

但明治十九年一丙第八號達稅表及報告表調理順序ノ内租稅表ノ項ヲ廢止ス

租税計算整理順序

第一條 租税計算整理ノ爲メ部長ハ左ノ計算表ヲ調整スルモノトス

一 租稅表

一 租稅收納既未濟報告表納期ヲ豫定セサルモノ及國立銀行米商會所株式取引所度量衡稅ヲ除ク

一 租稅收納報告表

第二條 租稅表ハ會計一周年度ニ屬スル租稅ヲ每納期又ハ若干月ニ區分シ區分方ハ期各其期月間ニ賦課シタル租稅額及ヒ賦課物件ノ員數ヲ掲記シ徵稅ノ實況ヲ表明スルモノトス

第三條 租稅收納既未濟報告表ハ每納期賦課額ニ對スル既未納金額ヲ掲記シ其納期間實收ノ景況ヲ明瞭ナラシムルモノトス

第四條 租稅收納報告表ハ會計一周年度租稅ノ實收額及徵收未濟ノ金額ヲ掲記シ其年度間實收ノ成蹟ヲ詳明ナラシムルモノトス

第五條 租稅表ニ掲クル員數ハ租稅臺帳ニ基キ租稅收納報告表ニ掲クル員數ハ其徵收實額ニ據リ之ヲ調整シ仍ホ歲入諸報告表ニ對照シ精査ヲ遂ケ必ス誤謬脫漏ナキヲ期スヘシ

二十一年十月三十一日
訂正三十三號

第六條 租稅表送付後所屬年度ノ會計整理期限翌年度八月以前ニ於テ賦課額ニ減殺スヘキモノヲ生シ又ハ誤テ賦課徵收シタルモノヲ發見シ其稅金還付ヲ了シタルトキハ前ノ租稅表ニ對シ減額表ヲ調整シ其時々之ヲ送付スヘシ

第七條 租稅表送付後所屬年度ノ出納閉鎖翌年度十一月以前ニ於テ租稅表ハ編入洩レノ金額ヲ發見シ其徵收處分ヲナシタルトキハ前ノ租稅表ニ對シ減額表ヲ調整シ其時々之ヲ送付スヘシ

第八條 前兩條ニ掲クル場合ノ外其年度ノ結算終了以前ニ於テ租稅表又ハ租稅收納報告表ノ誤記脱漏其他編入方ノ錯誤等ヲ發覺シタルトキハ租稅表ハ訂正増減表收納報告表ハ更正表ヲ調整シ其訂正又ハ引換ヲ請フヘシ

第九條 出納閉鎖ヲ過キ租稅表ハ編入洩レノ金額ヲ發見シ追徵處分ヲナシタルトキハ其年度會計年度ニ於テ既往年度追加租稅表ヲ調整シ其時々之ヲ送付スヘシ

但租目ノ廢止ニ屬セシカ爲メ更ニ科目ヲ設ケタルモノハ其稅表ヲ調整シ右同期ニ之ヲ送付スヘシ

第十條 租稅表ハ第一號ヨリ第七號迄全收納既未納報告表ハ第十一號租稅訂正増減表全追加表ハ第八號ヨリ第十號迄全收納報告表ハ第十二號様式ノ通調整シ各期限表ニ照シ差立ヘシ

租稅表租稅收納既未濟報告表租稅收納報告表調整心得

二十一年十一月十三日
訂正第三十三號

煙草稅

製造營業稅
仲買營業稅
小賣營業稅
營業稅
營業鑑札料

賣藥稅

營業稅
營業鑑札料

船稅

第六號式

牛馬賣買免許稅

醬油稅菓子稅煙草稅賣藥稅牛馬賣買免許稅ハ本表様式ニ示セル外摘要欄内へ各營業者ノ旨數ヲ記入ス 出店又ハ御小賣等ノ兼業稅ニ於テハ其艘數ヲ記入スヘシ 但鑑札料ニ屬スル人員ハ記入スルノ限ニアラス

船稅ノ内日本形小船及ヒ遊船ニ屬スル員數欄内ハ延長間數ヲ記入スヘシ 但實際三間未滿ノモノト雖トモ積算上三間ト見做シ其間數ヲ計算スヘシ

菓子營業者ノ内雇人ヲ増加シ増稅ヲ納ムル者アルトキハ其期ノ稅表規ノ備考欄内へ元雇人何人ノ者此部へ入増稅ヲ納ムル云々ヲ掲記スヘシ

菓子稅 製造稅

(増額)(減額)(訂正増減)表

順序第六條第七條ニ據リ製表スルトキハ各其一方即チ増又ハ減ノ區及備考ノ欄書迄ヲ設クルニ止ムヘシ

諸用紙稅ヲ除ク外諸稅ノ増減ヲ生シタルトキハ第八號式ニ準シ調製スヘシ其稅目ノ區別方ハ本稅表ノ例ニ據ル

全 上

諸用紙稅ノ増減ヲ生シタルトキハ第九號式ニ準シ調製スヘシ 菓子製造稅ニ於テ一月ヨリ三月迄ニ徵收スルモノアルトキハ第八號式ニ準シ之ヲ別表ニ調製スヘシ

追加租稅表 第十號式 順序第十條末段ノ稅表ハ本項様式ニ準シテ調製シ表題中追加ノ二字ハ之ヲ省キ他ハ諸稅表ノ例ニ依リ隨時設定ノ科目ニ從テ記入スヘシ

諸稅諸用紙稅ヲ除ク追加稅表第十號式ニ準シ之ヲ調製スヘシ其稅目ノ區別方ハ本稅表ノ例ニ據ル

諸用紙稅ノ追加ハ第三號式ニ倣ヒ之ヲ別表ニ調製スヘシ

租稅收納既未濟報告表

本表納期迄收納セシモノ、欄内ハ規定ノ納期迄故障無ク納入セシ金額ヲ記入ス○納期後收納セシモノ、欄内ハ納入ノ間期日ヲ過キ或ハ督促ヲ受テ成ハ公賣處分ノ揭示ヲ出セシ後収入セシ金額ヲ記入ス○公賣處分ノ上收納セシモノ、欄内ハ公賣代價ノ内ヨリ收入セシ金額ヲ記入ス○缺損金ノ欄内ハ公賣代金不納金額ニ充テヌ缺損ニ屬シタルヲ記入ス○未納ノ欄内ハ失踪逃亡旅行等ニテ公賣處分ヲ決行ス能ハサルモノ及ヒ荒地成此他ノ事故ニ由リ徵收ヲ延期セシ金額ヲ記入ス○備考欄内ハ未納ニ歸セシ事故ヲ摘記ス

租稅收納報告表

本表ハ租稅各項毎ニ之レヲ別表ニ調製スヘシ

第十二號式

摘要欄内へハ本表様式ニ示ス如ク科目徴収ニ關スル區分等ヲ掲記スヘシ
賦税額欄内ノ記入方ハ左ノ區別ニ從フヘシ
一 本年度分ノ區ハ租税表追加租税ニ掲ケシ金額ノ二表以上アルモヲ移記スルモノトス
但地租ノ内徴収年度ヲ異ニスル金額ヲ包含スルモノニ就テハ摘要欄内ノ區分ニ從
ヒ當該會計年度ニ屬スル租額ノ分割高ヲ記入スヘシ
一 過年度分ニ屬スル租額ノ内既往年度賦課洩レ發見ノ區ハ追加租税表ニ掲ケシ金額
ニ表以上アルトキハ其合算高キハ其合算高キハ其合算高キハ其合算高キハ其合算高
算上便宜ノ爲メ追徴又ハ補填スヘキ金額ヲ記載スヘシ
徴収額欄内へハ賦課額欄内ノ金高ニ應シ現實収シタル金額ヲ記入スルモノトス但過
納ノ儘其年度ノ會計整理期限ヲ經過シ過年度下戻ニ屬セシモノアルトキハ計算上符
合セスト雖モ尙之ヲ算入記載スヘシ
官損額欄内へハ賦課額欄内ノ金高中官損ニ歸シタル金額ヲ記入スヘシ
未納額欄内へハ賦課額欄内ノ金高ニ對シ不納其他種々ノ事故ニヨリ當該年度出納閉
鎖迄ニ納人シ得サリシ金額ヲ記入スヘシ
本表備考欄内へハ左ノ事項ヲ記入シ尙例外ノモノアルトキハ其説明ヲモ記載スヘシ
一 過納金ニ關スル説明(様式中甲印)
一 官損及未納ニ屬セル事故金額ノ類別且官損ニ就テハ減額報告ヲ爲シタル徴税額訂
正表ノ番號(様式中乙印)
本表調製ノ際官損及未納額ト他ノ過納額ヲ以テ擴充セサルモノトス

租税表其他差立期限表

番 號	製 項	目	區 分		該 年 月	差 立 期 限	差 立 度 數
			該 年	月			
一 號	所得 税	國 立 銀 行 税	尺 度 税	其 年 一 月 一 日 ヨ リ 六 月 三 十 日 マ テ	其 年 一 月 一 日 ヨ リ 六 月 三 十 日 マ テ	九 月 三 十 日	二 回
二 號	度 量 衡 税	權 衡 税	尺 度 税	其 年 一 月 一 日 ヨ リ 六 月 三 十 日 マ テ	其 年 一 月 一 日 ヨ リ 六 月 三 十 日 マ テ	七 月 三 十 一 日	二 回
三 號	證 券 印 紙 税	手 形 用 紙 税	權 衡 税	其 年 四 月 一 日 ヨ リ 六 月 三 十 日 マ テ	其 年 四 月 一 日 ヨ リ 六 月 三 十 日 マ テ	七 月 十 五 日	四 回
	煙 草 稅	賣 藥 稅	權 衡 税	其 年 七 月 一 日 ヨ リ 九 月 三 十 日 マ テ	其 年 七 月 一 日 ヨ リ 九 月 三 十 日 マ テ	十 月 十 五 日	
	料 用 紙 稅	賣 藥 稅	權 衡 税	其 年 十 月 一 日 ヨ リ 十 二 月 卅 一 日 マ テ	其 年 十 月 一 日 ヨ リ 十 二 月 卅 一 日 マ テ	翌 年 一 月 十 五 日	
	賣 藥 稅	賣 藥 稅	權 衡 税	翌 年 一 月 一 日 ヨ リ 三 月 三 十 日 マ テ	翌 年 一 月 一 日 ヨ リ 三 月 三 十 日 マ テ	四 月 十 五 日	

但明治十九年五月卅八十二號達ハ相廢ス

右訓令ス

歳入豫算調理順序

- 第一條 各郡長ハ毎年第一部歳入内國稅ニ關スル歳入豫算表及歳入豫算明細表ヲ別紙第一號第二號書式ニ依テ調理シ前年度五月三十一日當廳ヘ差出スヘシ
 - 第二條 歳入豫算ハ既定ノ歳入科目ニ依テ之ヲ調理スヘシ
 - 第三條 歳入豫算ハ左ノ區別ニ基キ之ヲ調理スヘシ
 - 一 歳入中動産上動産ニ課スル資本稅及諸營業ニ課スル租稅ノ類ハ其物件前々年度末ノ現數ヲ標準トス
 - 一 歳入中諸印紙稅諸商品及賣買所得ノ高ニ課スル租稅ノ額ハ前々年度以前三ヶ年度實収ノ平均額ヲ標準トス
 - 第四條 過年度ニ屬スル收入ヲ加算シタルトキハ別ニ仕譯書ヲ添付スヘシ
 - 第五條 歳入豫算裁定額ヲ達シタル後該年度中ハ毎月豫算額ニ對シ増減ノ有無ヲ調査シ増減アルトキハ別紙第三號書式ニ依テ調理シ翌月五日限り之ヲ差出スヘシ
- 但増減ナキトキハ其旨報告スヘシ

項	歳入科目	豫算高		前年度ニ對スル比較ノ差	
		二十二年度	二十一年度	増	減
		圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘	圓錢厘
	第一款 内國稅				
第一	地租	13,600.25 1	13,500.35 7	99 89 4	0
第三	國立銀行稅	180.00 0	180.00 0	0	0
第六	酒造稅	55,500.30 5	54,870.50 6	629 79 9	0
第十五	牛馬賣買免許稅	142.50 0	144.50 0	0	2 00 0
	第一款合計	69,423.05 6	68,695.36 3	727 69 3	

明治何年度第一部歳入豫算表
書面之通候也

秋田縣何郡長姓名印
明治何年何月何日
秋田縣知事宛

明治何年度第一部歳入豫算表
書面之通ッ候也

秋田縣何郡長姓名印

明治何年何月何日
秋田縣知事宛

(第一號書式)

明治何年度
歳入豫算表

○用紙常用フールスナップ以下同之

秋田縣
何郡役所

目	歳入科目	豫算		前年度ニ對スル比較ノ差		事由
		二十二年	二十一年	増	減	
		圓	圓	圓	圓	
	第一 款					
	第一 項					
	第一 項					
第一	田 租	11,750.10	11,610.19	139.90	0	標準額何拾圓ニ對シ何圓ヲ増(或ハ減)セシハ何々ニ由ル 前年度豫算額何拾圓ニ對シ何圓ヲ増(或ハ減)セシハ何々 ニ由ル(以下同之)
第二	畑 租	975.07	1,025.23	0	50.16	
第三	郡村宅地租	875.07	864.92	10.15	0	
	第一項合計	13,600.25	13,500.35	99.89	4	
	第三 項					
	國立銀行税					
第一	國立銀行税	180.00	180.00	0	0	
	第三項合計	180.00	180.00	0	0	
	第六 項					
	酒 造 税					
第一	釀造酒税	45,600.20	45,100.84	499.35	0	
第二	蒸溜酒税	900.10	800.15	99.94	0	
第四	酒造免許税	9,000.00	8,970.00	30.00	0	
	第六項合計	55,500.30	54,870.99	629.79	0	
	第十五 項					
	牛馬賣買免許税					
第一	牛馬賣買免許税	142.50	144.50	0	2.00	
	第十五項合計	142.50	144.50	0	2.00	

明治何年度第一部歳入豫算増減報告書
前記之通有之候也

秋田縣何郡長姓名印
明治何年何月何日
秋田縣知事宛

(第二號書式)

明治何年度

歳入豫算明細表

秋田縣
何郡役所

歳入科目	現豫算額			項目ノ増減		項ノ増減		事由
	圓	錢	厘	圓	錢	圓	錢	
内國稅								
地租								
田租	123	15	1	1	07	2		
畑租	45	50	2				2	10
郡村宅地租	47	01	0	3	00	4		
市街宅地租	89	05	9				4	01
計	324	72	2	4	07	6		
酒造稅								
釀造酒稅	907	06	2	120	07	9		
蒸溜酒稅	654	29	1				5	00
計	1,641	35	3	120	07	9	5	00
							115	07
							115	07
							2	04
							2	04
							113	03
							113	03
							2	04
							115	07
							2	04
							113	03

何々ニ由リ増
何々ニ由リ減
以下倣之

全上ノ減額ノ場合

何第何號
何年何月分

明治何年度
第一部
歲入豫算増減報告書

秋田縣
何郡役所

(第三號書式)

○郡第三百三十五號 明治二十一年五月九日 郡役所
本年四月郡第二百二十四號訓令歳入豫算調理順序中歳入豫算表同明細表ハ各武通増減報告表ハ壹通差出スヘシ
右訓令ス

○郡第五百二十三號 明治二十一年五月十五日 郡役所
租税不納者處分規則ニ據リ處分之未官損ニ歸スルモノハ二十一年度以降稟申ニ及ハス該金額ハ本年五月郡第二百二十九號訓令徵稅額訂正表ヲ以テ減額報告スヘシ
但他ノ事故ノ訂正表ト區別シテ調製スヘシ
右訓令ス

○郡第八十三號 明治二十一年六月二十日 郡役所
明治十九年度以降ニ屬スル第一部歳入決算報告表様式別冊之通相定候條右ニ準據調製シ翌年度三月三十一日マテニ差出スヘシ
但十九年度ニ限リ本月三十日マテニ差出スヘシ
右訓令ス

歳入決算報告表書式凡例
一 豫算増減表中豫算原額ト稱スルハ當初訓令ヲ以テ定メタル所ノ月額豫算ヲ集計セル年額ナリ
一 決算報告表及豫算増減表中ノ豫算現額ト稱スルハ豫算原額ニ對シ爾後新ニ發シタル訓令ニ據リ増減シタル額ヲ差引シテ得タル處ノ最終豫算額ニシテ即チ決算ノ基礎トナル

第三類 第三 調稅

明治二十二年度以降歳入科目別冊ノ通改正セラル
歳入科目

經常歳入		歳入	
款	項	目	
租	地租	田租	府縣
		畑租	府縣
		郡村宅地租	府縣 (沖繩縣ヲ除ク)
		市街宅地租	府縣 (沖繩縣ヲ除ク)
		鹽田租	府縣 (沖繩縣ヲ除ク)
		鑛泉地租	府縣 (沖繩縣ヲ除ク)
		池沼租	府縣 (沖繩縣ヲ除ク)

第三類 第三 調税

山林原野租	府縣 (沖繩縣ヲ除ク)
雜種地租	府縣 (沖繩縣ヲ除ク)
北海道地租	北海道廳
延納年賦	府縣 (沖繩縣ヲ除ク)
所得稅	北海道廳 府縣
酒造稅	北海道廳 府縣
釀造酒稅	沖繩縣ヲ除ク
蒸溜酒稅	沖繩縣ヲ除ク
再製酒稅	沖繩縣ヲ除ク
酒造免許稅	沖繩縣ヲ除ク
自家用料酒鑑札料	沖繩縣ヲ除ク
營繕營業稅	北海道廳 府縣 (沖繩縣ヲ除ク)

第三類 第三 調稅

株式取引所稅	米商會所稅	沖繩縣酒類出港稅	沖繩縣酒類出港稅	出賣鑑札料	仕入鑑札料	營業鑑札料	小賣營業稅	卸賣營業稅	製造營業稅	製造稅	菓子稅	造石稅	府縣 (沖繩縣ヲ除ク)
北海道廳 府縣	北海道廳 府縣	沖繩縣											

煙草稅	印稅	製造營業稅	仲買營業稅	小賣營業稅	營業鑑札料	仕入鑑札料	出賣鑑札料	證券印紙稅	證券印紙稅	小切手押印稅	手形用紙稅	營業稅	營業稅	府縣 (沖繩縣ヲ除ク)
北海道廳 府縣 (沖繩縣ヲ除ク)								北海道廳 府縣 (沖繩縣ヲ除ク)						

第三類 第三 調稅

手 數 料	外國人營業地使 用免許料	株式取引所仲買 人認許料	代 言 免 許 料	訴訟用印紙料	登記印紙料	版權登錄料及手 數料	地券下付書換手 數料	海外旅券手數料	船難報告及證書 手數料	清國諸港出入手 數料	清國內地旅行免 狀手數料	醫師開業免狀手 數料
	屠牛 重荷揚卸器械取付 小船釣木 取付 材木小船揚卸 北海道廳(開 市港場アル府縣)	商農務省	司法省	外務省 府縣	北海道廳 府縣	內務省	北海道廳 府縣	外務省	外務省	外務省	外務省	內務省

銃獵免許稅	職獵免許稅	遊獵免許稅	免狀再渡及書換 手數料	牛馬買賣免許稅	牛馬買賣免許稅	鑑札再渡及書換 手數料	輸 出 稅	輸 入 稅	免許料	免許及手數料
北海道廳 府縣				北海道廳 府縣 (沖繩縣ヲ除ク)			大藏省			

唐津石炭用所益金	造船益金	砲兵工廠益金	鐵山益金	造幣局益金	囚徒工錢收入	電信料過剩金
小野濱造船	橫須賀造船	大坂砲兵工廠	東京砲兵工廠	廣島鐵山	造幣局益金	囚徒工錢收入
海軍省	海軍省	陸軍省	廣嶋縣	大藏省	外務省 內務省 陸軍省 海軍省 北海道廳 府縣 (東京府ヲ除ク)	

切手賣下代	封皮賣下代	業書賣下代	帶紙賣下代	私書函料	爲換料	官報郵便料	約束郵便料	外國郵便物遞送料差金	貨幣封入郵便物遞送料	音信料	電信取扱料	電信修繕料	電信維持料

第三類 第三 調稅

藥價收入	入院料	明治丸便船料	電信料割戻	返納金	雜入	迷犬費辨償金	檢疫消毒費辨償金	公債證書製造費辨償金	石炭直輸出取締費納金	官地私用辨償金	病院患者藥餌料	外國受繼電信料辨償金	稅關官吏旅費辨償金
陸軍省 海軍省 北海道廳 沖繩縣	陸軍省	遞信省	遞信省	前金渡ノ者年度后返納ノ分 府縣 遞信省		內務省	內務省	大藏省	大藏省	北海道廳 府縣	海軍省 沖繩縣	外務省	大藏省

料	郵便違犯物取扱	金	電信修繕費辨償	金	誤伐撞伐木辨償	學費辨償金	盜難品賠償金	違約金	訴訟入費償却金	毀損紛失物品辨償金	贖罪及収贖金	沒收金	罰金及科料	罰金及沒收金
遞信省	遞信省	遞信省	遞信省	北海道廳 府縣	內閣 內務省 陸軍省 海軍省 司法部 北海道廳 府縣	各廳 府縣	各廳 府縣	各廳 府縣	各廳 府縣	各廳 府縣	陸軍省 海軍省 司法部	各廳 府縣	過料共 內務省 大藏省 陸軍省 海軍省 司法部 北海道廳 府縣	各廳 府縣

防海費献納金	防海費献納金	大藏省
郵便電信費献納金	郵便電信費献納金	逓信省
燈臺建設費献納金	燈臺建設費献納金	逓信省
治安裁判所建設費献納金	治安裁判所建設費献納金	司法省
治安裁判所借地家料献納金	治安裁判所借地家料献納金	司法省
官有物拂下代	某鑛山年賦拂下代	大藏省
某地所拂下代	某鑛山年賦拂下代	外務省 陸軍省 海軍省 北海道 廳府縣

○秋田縣訓令第十三號 明治二十二年四月八日 郡役所

郡役所ニ關スル地租事務ハ左之手續ニ從ヒ取扱フヘシ 郡役所地租事務取扱手續

第一條 地租ニ關スル願書ハ其筆限字番號地目反別等級地價地租及所有者ヲ土地臺帳及地圖ニ照查シ主任官之ニ捺印シテ本廳ニ送付スヘシ

第二條 土地ノ分合筆ニ關スル願書ニシテ反別地價ノ分配合併相當ヲ得ル者ハ直ニ之ヲ

御補助金	御補助金	大藏省
綠越金	防海費御補助金	大藏省
防海費献納金	防海費献納金	大藏省
某建物拂下代	某建物拂下代	各廳 府縣
某地所拂下代	某建物拂下代	壹ヶ所壹萬圓以上

許可シ土地臺帳ヲ訂正スヘシ其反別地價ニ増減ヲ生スル者ハ前條ノ手續ヲ爲スヘシ
 第三條 前二條ノ場合ニ於テ本條ヨリ聽許ノ通達ヲ得タルトキハ直ニ土地臺帳地圖及地
 租臺帳ヲ整理スヘシ
 第四條 土地所有ノ移轉又ハ質入及其解約ニ係ル登記所ノ通知ヲ得タルトキ並ニ住所氏
 名動異ノ届出ヲ得タルトキハ直ニ土地臺帳ヲ訂正スヘシ
 第五條 前條訂正ヲ經タルモノハ別紙第一號様式ニ據リ納租者異動表ヲ作り各納期三十
 日以前之ヲ町村長ニ通報スヘシ其以後納期末日迄ニ係ルモノハ其時々之ヲ通報スヘシ
 第六條 土地臺帳ノ原本ヲ請フモノアルトキハ即日之ヲ下付スヘシ
 第七條 地租ノ前年ニ溯リ徵収スヘキモノハ別紙第二號様式ニ據リ追加地租臺帳ヲ調製
 シ之ニ記入スヘシ
 第八條 毎年一月ニ於テ土地臺帳ニ就キ明治十八年本縣乙第二十一號達土地臺帳總計式
 ニ準シ地目毎ニ係ル反別地租地價ヲ合計シ地租臺帳ニ照合シ別紙第三號乃至第六號ノ
 様式ニ據リ地租表ヲ調製シ二月十五日限り本廳ニ報告スヘシ但地租追加ニ係ルモノハ
 第七號ノ様式ニ據リ本表ト共ニ報告スヘシ
 ○秋田縣訓令第十八號 明治廿二年四月九日 郡役所
 經常歲入中第一款租稅ニ關スル毎年度歲入概算書別紙様式(鑛山借區稅ニ限リ別冊トス)ノ通り調製シ
 前々年度二月十日限り本廳ニ差出スヘシ
 但廿三年度ニ限リ四月十三日迄トス

原稿

(用紙普通美濃紙)

明治何年度歲入概算書

何郡役所

歲入概算說明

本年度ニ於テ明治何年何號ノ法律又ハ敕令ニ據リ何々ノ規則ヲ改定シ何年何月何日以降
 之ヲ實施スヘキヲ以テ何々ノ項ヲ許置シ又ハ何々ノ事由ニ依リ何々ヲ加ヘ或ハ刪除
 ス

經常

第一款何々

第何項何々

増、、、、圓

何年何月何號ノ法律ニ據リ新ニ本項ヲ設置シタルルカ爲メ、、、、圓ノ皆増ヲ見
 ル

第何項何々

減、、、、圓

何々ノ事由ニ據リ何々ニ於テ、、、、圓ヲ増スト雖トモ何年何月何號ノ勅令ニ
 由リ何々ニ於テ、、、、圓ヲ減シ差引、、、、圓ノ減少ヲ見ル

第三類 第三 調稅

明治何年度經常歲入概算

(印ハ朱書)

科	目	何年度概算高			比較ノ差
		何年度概算高	前年度豫算高	比較ノ差	
第一款何々	第一項何々	一八〇〇〇〇〇	二四三〇〇〇〇	●六三〇〇〇〇	
	第一目何々	一〇〇〇〇〇〇	九三〇〇〇〇	●七〇〇〇〇	
	第二項何々	五〇〇〇〇〇〇	四九〇〇〇〇〇	●一〇〇〇〇〇	
	第二目何々	五〇〇〇〇〇〇	四八〇〇〇〇〇	●二〇〇〇〇〇	
	第一目何々	五〇〇〇〇〇〇	四九〇〇〇〇〇	●一〇〇〇〇〇	
	第二目何々	五〇〇〇〇〇〇	四八〇〇〇〇〇	●二〇〇〇〇〇	
	第一目何々	五〇〇〇〇〇〇	四九〇〇〇〇〇	●一〇〇〇〇〇	
	第二目何々	五〇〇〇〇〇〇	四八〇〇〇〇〇	●二〇〇〇〇〇	
第一款何々合計		一八〇〇〇〇〇〇	二四三〇〇〇〇〇	●六三〇〇〇〇〇	

○秋田縣訓令第二十九號 明治二十二年四月十二日 郡役所
 本年三大藏省令第五號國稅徵收法施行細則中調定額計算書様式并報告期限左之通り相定ム

何々ノ事由ニ依リ
 何々ノ事由ニ依リ
 何々ノ事由ニ依リ
 何々ノ事由ニ依リ
 何々ノ事由ニ依リ

第一條 郡長ニ於テ徵稅令書ヲ發シタルトキハ第一號様式ニ准シ調定額計算書ヲ製シ納期アルトキハ徵稅令書發付後三日以内隨時収入ニ係ルモノハ毎月口纏メ翌月五日迄ニ之ヲ本廳ヘ報告スヘシ

第二條 前條調定額計算書送付後所屬年度ノ出納閉鎖以前ニ於テ増減ヲ生シタルトキハ第二號様式ニ準シ調定額増減計算表ヲ製シ其時々之ヲ本廳ニ報告スヘシ

何 年 度

		圓	錢	厘	圓	錢	厘
租	稅						
地	租						
田	租						
何年	第何期分				1,000	00	0
証	券						
証	印						
何年	何月中ノ分	230	00	0			
手	形						
何年	何月中ノ分	500	0		235	00	0
煙	草						
印	稅						
何年	何月中ノ分	550	00	0			
製	造						
何年	何半年分	50	00	0			
何年	何月中ノ分	250	0		602	50	0
總計					1,837	50	0

何郡長姓名印

年 月 日
知 事 宛

何 年 度

(第一號様式)

第 何 號

(此號數ハ本書ノミノ順ヲ追フ)

摘 要	原報告額	増	減	訂 正 額
	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘	圓 錢 厘
租 地				
何 年 第 何 期 分				
何年何月何日付第何號調定額 計算書ノ内何々ノ事由ニ依リ増 (減額ノ分)				
總計	1,000 00 0	50 00 0		1,050 00 0

明 治 何 年 度
國 稅
調 定 額 計 算 書

何 郡 長 姓 名 印
年 月 日
知 事 宛

何 郡

第何號
(此號數ハ本書ノミノ順チ進フ)

明治廿二年四月廿九日
國稅
調定額増減計算書

何郡

(第二號様式)

○秋田縣訓令第五十號 明治廿二年四月廿九日 郡役所
華族世襲財産法ニ依リ土地ヲ以テ世襲財産ト爲サントスル者ハ其土地臺帳所管廳ニ請ヒ
財産目錄ニ與印ヲ受クヘキ旨其筋達ノ次第モ有之ニ付右請求アルトキハ財産目錄中所在
地々番字地目反別地價(荒地免租年期)(開墾下年期)ヲ土地臺帳ニ照合シ相違無之ニ於
テハ左ノ書式ニ依リ與印スヘシ

書式
第一類第何號(自第一類第何號至第一類第何號)
一所在地々番字地目反別地價(荒地免租年期)(開墾下年期)記載ノ廉土地臺帳ニ照合候
處相違無之候也

年 月 日 秋田縣何郡長 某 印

○秋田縣訓令第六十號 明治二十二年五月六日 郡役所
本年三三大藏省令第五號國稅徵收法施行細則第十三條ニ依リ送付スヘキ收入報告書参照書
類ハ金庫ヨリ差出ス收入金毎月報告表ヲ添付スル儀ト心得ヘシ

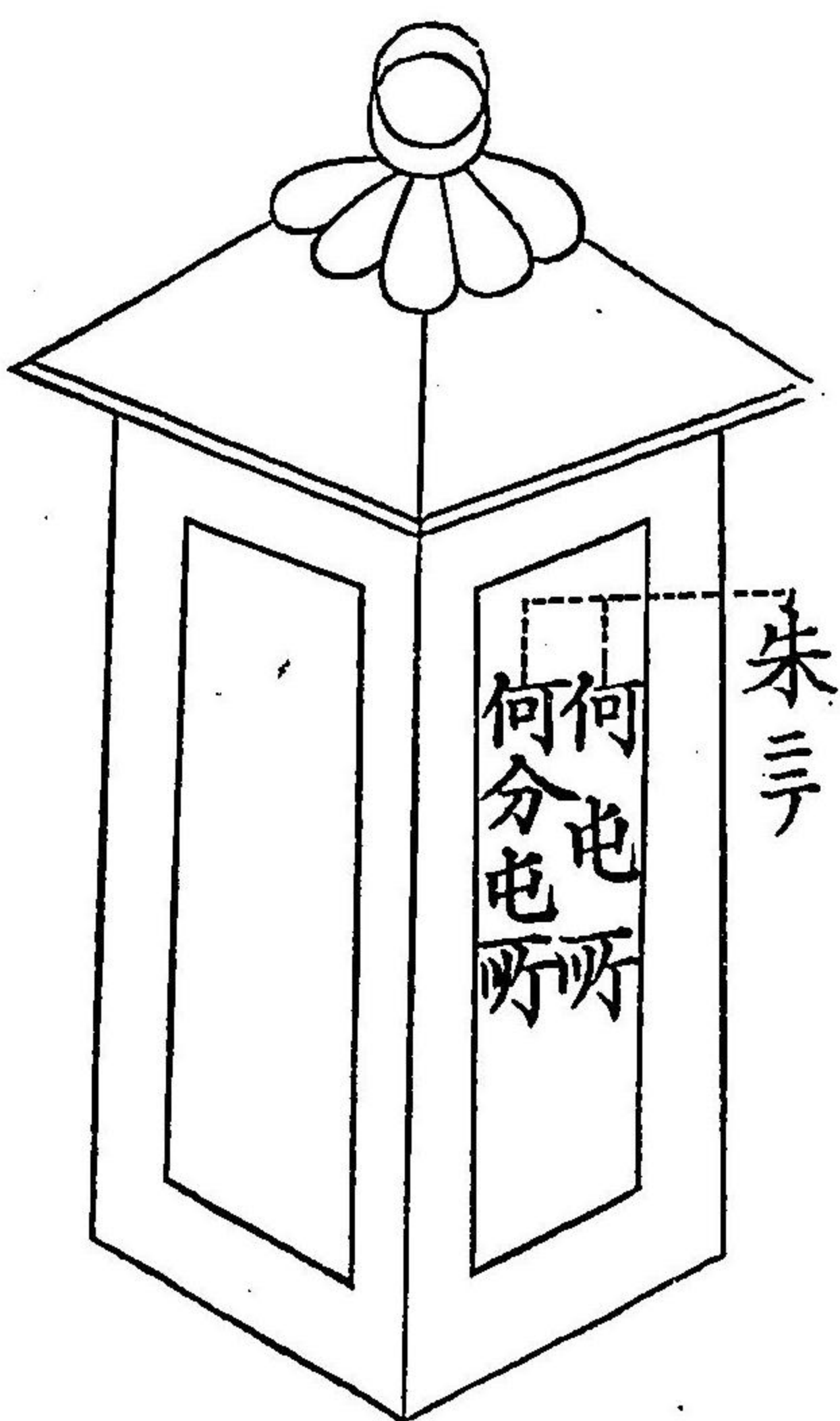
○秋田縣訓令第六十四號 明治廿二年五月八日 郡役所
本年三三法律第九號國稅徵收法第八條第二項ノ徵稅令書ヲ受タル納稅人若シ其納期限以內
ニ於テ分納セントスルトキハ本年三三大藏省令第五號様式ニ準シタル納付書ヲ添付シテ金
庫ヘ納付シ其別符ノ切離及領收證ノ檢印ヲ收入官吏ニ請フコトヲ得

第三類 第三 調稅

第四類

第一 警察構成及例規

○第三百六十九番 明治九年八月三十一日
 本年第九十二番ヲ以巡査提灯形相違置候處自今別紙之通ガラス提灯取交相用候條此旨觸示候事



○秋田縣令第一號 明治二十年一月六日
 巡査採用規則別紙之通改定ス
 巡査採用規則

第一條 巡査ハ採用試験ニ及第シ本縣教習課程ヲ卒業シタルモノヲ採用ス

第二條 巡査ハ品行方正ニシテ左ノ各項ニ適合スルモノタルヘシ

一 年齢二十年以上三十五年以下ニシテ徴兵ニ相當セサルモノ

二 身幾五尺寸以上ノ者

三 体格強壯ニシテ欠所ナキモノ

四 滿五年以上奉職ニ差支ナキモノ

第三條 前條ニ適合スト雖モ左ノ事項ニ抵觸スルモノハ採用セス

一 重罪ノ刑ニ處セラレ又ハ輕罪重禁錮ノ刑ニ處セラレ若シクハ全上ノ刑ニ處セラレヘキ罪ヲ犯シ單ニ監視ニ附セラレタルモノ及輕罪輕禁錮ノ刑ニ處セラレ滿期後五年ヲ經過セサルモノ

但舊法ニヨリ施体ノ刑ニ處セラレタルモノハ給テ本文ノ權衡ニ準ス

二 賭博犯處分規則ニ依リ懲罰ニ處セラレタルモノ

三 巡査懲罰例又ハ官吏懲戒例ニヨリ免職セラレ若シクハ故ナク巡査ヲ辭職シ二年以上ヲ經過セサルモノ

四 身分不相應ノ負債アルモノ又ハ身代限りノ處分ヲ受テ弁償ノ義務ヲ終ヘサルモノ

五 酒癖又ハ暴行ノ癖アルモノ

第四條 採用試験科目左ノ如シ

一 法律規則
 刑法治罪法警察法規

二 歴史地理
 本邦歴史及地理

三 作文
 論説又ハ記事

四 算術
 加減乗除正轉比例

五 寫字
 楷行書

第五條 巡查志願ノ者ハ附録ノ書式ニ依リ志願書ニ履歷書ヲ添ヘ所管警察署ヘ差出スヘシ

第六條 採用試験ニ落第シタルモノハ六ヶ月ノ後ニアラサレハ再願スルコトヲ得ス

附録
 用紙半紙
 巡查志願書

何府何國何郡何町番地
 縣區何村
 華士族平民
 何某何男弟又ハ戶主
 (寄留者ハ寄留籍ヲ記ス)
 氏 名

右御縣巡查志願ニ付御試驗被成下度此段奉願候也

年 月 日 右 氏 名 印

秋田縣知事氏名殿

前書之通願出ニ付取調候處巡查採用規則第二條第一項ニ適合シ第三條第一項第二項第四項ニ抵觸セサルモノニ付與印致候也

履歷書

右町戶長 氏 名 印
 何府華士族平民(元何藩) 氏 名
 (舊名何)
 年號月日生

明治年月日
 一何々申付候事
 月俸何々
 同年月日
 一任何々
 同年月日
 何府縣

年號月日生
 何年何月

一 免本官
同年月日
一 教導團若シハ鎮臺へ入營又ハ退營
同年月日
一 賞罰
年 月 日
(全文ヲ載ス)
右 氏 名 印

○秋田縣令第二號 明治二十年一月十七日
巡查配置請願規則別紙ノ通改定ス
但第七條ハ明治二十年四月一日ヨリ施行ス

巡查配置請願規則

第一條 町村會社又ハ一己人ヨリ其費用ヲ納メ巡查ノ配置ヲ請願スルコトヲ得
第二條 配置請願ノ期限ハ會計年度ニ從フヘシ但一ケ年ニ滿テサルモノハ該年度内ニ於テ其期限ヲ定ムヘシ
第三條 配置ノ請願書ニハ配置ノ期限場所及巡查ノ員數給額ヲ記載シ所管警察署ヲ經テ本縣へ差出スヘシ
第四條 配置ヲ請願シタルモノハ其巡查ノ詰所ヲ設ケ須要ノ器具ヲ備フヘシ
第五條 配置巡查ハ所管警察署又ハ分署ノ管轄ニ屬シ其監督ヲ受ケ職務ヲ行フモノトス
第六條 配置ノ費用ハ豫算達ノ際定ムル所ノ期限ニ從ヒ所管警察署へ相納ムヘシ其科目左ノ如シ但備品及消耗品等ハ現品ヲ以テ供給スルモノトス

一 俸給
二 雜給
三 諸費

第七條 前條ノ外配置ノ巡查職務ニ依リ死傷シ又ハ在職中死去シ若クハ配置期限繼續五年以上ニシテ解職者アルトキハ之ニ相當スル補助金額ヲ納ムヘシ
第八條 第六條ノ費用ハ配置允許ノ際又ハ年度ノ始ニ於テ豫算ヲ以テ之ヲ定メ決算ノ場合ニ至リ其過不足ハ返還又ハ追徴シ第七條ノ費用ハ其時々徴收スルモノトス

○秋田縣令第二十一號 明治二十年三月四日
本縣警察區畫別表ノ通改定シ本年四月一日ヨリ施行ス

秋田縣警察區畫表

警察署	全管轄直轄及分署位置	
	郡名	分
秋	東根小屋町 同末丁 中谷地町 下長町 同中橋丁 上中城町	西根小屋町 長野町 上長町 土手長町上丁 同中丁 下中城町
		同中丁 土手谷地町 中長町 同中丁 古川堀端町 手形上丁

第四類 第一 警察構成及例規

田			
同中町			
同下東丁			
同西町			
同四ツ辻町			
同東上丁			
同南横丁			
同本新町上丁			
同本新町下丁			
同南横丁			
同本町下丁			
同中丁			
同本横町			
同虎ノ口新町			
同古川新町			
同南新町上丁			
同登町			
同九郎兵衛殿町			
同入川橋通登町			
同退回町			
同末無丁			
同三枚橋			
同餌刺町			
同醫王院前町			
同下ノ濱町			
同牛島橋通町			
十軒町			
米澤町			
升取町			
榎山村			
保戸野村			
川尻村			
手形村			
廣面村			
柳田村			
八田村			
中關村			
目長崎村			
仁別村			
山内村			
濁川村			
泉村			
新藤田村			
黒澤村			
寺庭村			
氷口村			
飯田村			
飯嶋村			
笠岡村			
岩城村			
五十丁村			
中村			
道川村			
湯ノ里村			
保多野村			
小又村			

四百三十二

香			
河邊郡			
土崎出張所			
同國土崎			
同加賀			
同南秋田郡			
河邊郡			
土崎湊新柳町			
同愛宕町			
同旭町			
同清水町			
同古川町			
同登保町			
同新城町			
同御藏町			
同上山田町			
同下酒田町			
同永覚町			
同加賀町			
同稻荷町			
同小鴨町			
同着町			
同林町			
同新町			
相染新田村			
寺内村			
同新町			
船越村			
典農村			
大崎村			
富永村			
牛島村			
柳原新田村			
荒卷村			
仁井田村			
大山田村			
小山田村			
大戸村			
梨平村			
櫻村			
目長田村			
黒川村			
大杉澤村			
松崎村			
柳館村			
寒川村			
猿田村			
百崎村			
四ツ小屋村			
通澤村			
寶川村			
下ノ刈村			
笹岡村			
神田村			
小泉村			
典農村ノ内字			
八柳村			
神田村			
小友村			
浦山村			
吉田村			
岩瀬村			
堀内村			
青崎村			
小友村			
浦山村			
高岡村			
片田村			
黒川村			
岩瀬村			
白山村			
石名坂村			
中野村			
長岡村			

第四類 第一 警察構成及例規

四百三十三

署		
一 圓		
新屋分署	和田分署	下虻川分署
同國同郡百三 同國同郡百三 同國同郡百三	同國同郡和河 同國同郡和河 同國同郡和河	同國同郡下虻 同國同郡下虻 同國同郡下虻
全	河邊郡	全
百三段新屋比内南町 同石田坂村 柴野新田村 下黒瀬村 戸賀澤村 種澤村 平澤村 相川村 平尾鳥村 同濱田村 豊巻村 石田村 女米木村 佐手子村	古野村 船澤村 諸井村 岩見村 和見村 御處野村 三内村 高岳村 神内村 畑屋村 小阿地村 松淵村 赤平村 船岡村 大張野村 大澤村 北野田高屋村 末戸松本村	八丁目村 船橋村 寺澤村 保野子村 下細口村 北川尻村 山田村 濱井川村 大久保村 和田妹川村 飯塚村 下虻川村 龍毛村 金山村 今戸村 坂本村 大麥村 槻木村 亂橋村

察	
五十目分署	船越分署
同國同郡五十 同國同郡五十 同國同郡五十	同國同郡船越 同國同郡船越 同國同郡船越
全	全
川崎村 久保村 下山内村 湯ノ又村 五十目村 馬場目村 黒土村 小倉村 高崎村 小池村 眞坂村 谷地中村 浦横町村 野田村 眞大町村	拂戸村 椿村 南平澤村 田谷澤村 角間崎村 北浦村 本田村 鮎川村 濱間口村 中間口村 野村 戸賀村 濱鹽谷村 鹽濱村 西黒澤村 眞山村 島村 加茂青砂村 本山門前村 臺嶋村 舟川村 仁井山村 浦田村 北浦表町 福米澤村 箱井村 相川村 西水口村 湯本村 瀧川村 神谷村 野石村 鶉木村 樽澤村 比詰村 金川村 脇本村 福川村 百川村 松木澤村 中石村 琴川村 山町村 眞山村 島村 加茂青砂村 小濱村 女川村 金川村 比詰村 樽澤村 鶉木村 野石村 神谷村 瀧川村 安全寺村 西黒澤村 眞山村 島村 加茂青砂村 双六村 増川村 脇本村 福川村 百川村 松木澤村 中石村 琴川村 山町村 眞山村 島村 加茂青砂村

大 館 警		
北秋田郡		
直	鷹巣分署	扇田分署
同國北 秋田郡 轄大館町	同國同 鷹巣郡 村	同國同 扇田郡 村
北秋田郡	全	全
東大館町 片山村 岩瀬村 松嶺村 長走村 商人留村	鷹巣村 前山村 長坂村 小森村	扇田村 中山村 榎崎村 本宮村 下河原村 中野村 八木橋村 大葛村
西大館町 小館花村 外河原村 花岡村 粕田村 橋桁村	榮村 今泉村 早口村 七日市村	道目木村 二井田村 小袴村 比内前田村 味噌内村 達子村 斤貝村 葛原村
上代野村 立花村 沼館村 釋迦内村 茂内村 雪澤村	坊澤村 小繁村 脇神村	十二所町 赤石村 大披村 杉澤村 新館村 谷地中村 白澤水澤村 猿間村
根下戸村 山田村 松木村 白澤村 大茂内村 川口村	黒澤村 綴子村 中屋敷村	山館村 出川村 板澤村 大子内村 獨鉆村 笹館村 小坪澤村 輕井澤村

四百三十六

能 署 察	
一 圓	
米内澤分署	
同國同 郡米内 澤村	
全	
能代長根町 同萬町 同羽立町 同大町 同柳町	曲田村 季岱村 上杉村 福田村 増澤村 三里村 堂川村 五反澤村 水無村 吉田村 桂瀬村 荒瀬村 真木澤 眞木澤 三枚鑛山
同上町 同幸町 同上川端町 同後町 同柳町	餌釣村 米内澤村 下杉村 羽根山村 麻生村 三木田村 小澤田村 沖田而村 銀山町 五味堀村 小又村 小澤鑛山 三枚鑛山
同富町 同馬口勞町 同下川端町 同清助町 同盤若町	本城村 川井村 八幡岱新田村 根田村 鎌澤村 福館村 南澤村 小淵村 阿仁前田村 根森田村 二ノ又鑛山 一ノ又鑛山
同真町 同中町 同御指南町 同鍛冶町 同出戸町	道城村 新田目村 木戸石村 芹澤村 佛社村 杉花村 大林村 小様村 浦田村 森吉村 荳草鑛山

第四類 第一 警察構成及例規

四百三十七

察	
一	
圓	
矢島分署 同國郡 矢島田 中町	鹽越分署 同國郡 鹽越 村
全	全
下蛇田村 龜田最上町 龜田愛宕町 上黒川村 六呂田村 富田村 松ヶ崎村 下黒川村 上蛇田村 福俣村 龜田大町 下黒川村 富田村 松ヶ崎村 下黒川村 上蛇田村 福俣村	黒川村 中三地村 小國村 寺田村 長岡村 本郷村 西中ノ澤村 小砂川村 田中町 七日町村 坂ノ下村 伏見村 小川村 猿倉村 下笹子村 芹田村 田抓村 馬場村 水澤村 大飯郷村 横岡村 洗釜村 西前寺村 館町 川邊村 新莊村 上川内村 上直根村 才ノ神村 城内村 荒澤村 立石村 栗澤村 中直根村 百宅村 矢島町 元町村 木在村 下川内村 下直根村 上笹子村 三森村 平澤村 伊勢居地村 畑村 釜ヶ盛成 小瀧村 關村 大須郷村 繩目野村 院内村

莊	
鹽越村 湯澤村 老方村 藏村 柳生村 烏川村 川西村 西澤村 東鮎川村 陣ヶ森村 五十土村 吉澤村 三川村 瀧村 平岫村 長坂村 大倉澤村 中帳村 石脇村	前川村 金浦村 飛村 出戸村 高尾村 加賀澤村 北福田村 新田村 羽廣村 前郷村 山本村 大水口村 鮎川村 南福田村 平石村 萬願寺村 雪車町村 鳥田目村 法内村 館合村 大中之澤村 中俣村 松本村 中田代村 小栗山村 岩谷麓村 久保田村 土倉村 飯澤村 小菅野村 町村 黒澤村 上野村 宮澤村 大梁村 杉森村 田代村 新澤村 德澤村 及位村 葛岡村 岩野目澤村 岩谷町村 新上條村 蟹澤村 曲澤村 東中澤村 堰口村 森子村 館村 瀧ノ澤村 山内村 宿村 黒淵村

警 曲	
一	
圓	
角館分署	同國同
東勝郡	同國同
樂館	同國同
全	
東今泉村 駒場村 永代村 松倉村	角館岩瀨町 同田町上町 同田町下町 同中町 同山根町 同川原町 同畑越町 岩瀨村 山谷川崎村 下檜木内村 田澤村 岡崎村 小松村 小山田村
鎌見内村 太田村 川口村 南檜岡村	西長野村 小勝田村 生保内村 玉川村 上荒井村 角館東前郷村 八割村
長戸呂村 黒澤村 横澤村 北檜岡村	雲然村 西明寺村 刺卷村 卒田村 小淵野村 神代村 下鷺野村ノ内字 押切
下延村 中里村 神宮寺村 外小友村	河原村 上檜木内村 瀨村 梅澤村 西荒井村 門屋村
劉和野村 峯吉川村 半道寺村 小杉山村	

大 署	
仙北郡	
直	
轄	
同國同	同國同
仙北郡	仙北郡
全	
白岩村 豐岡村 上鷺野村 北長野村 沖ノ郷村 長野村 四ノ屋村 宮林新田村 花館村 川ノ目村 藤木村 橋本村 大曲村	泉田村 瀧俣村 親川村 道川村 繫村 名ヶ澤村 檜田村 向野村
白岩廣久内村 小神成村 下鷺野村 長谷川村 東長野村 里鏡村 堀見内村 野口村 豐受村 園田村 大神成村 横堀村 福田村	神ヶ村 内道川村 神ノ澤村 新波村 八田村 向野村
國見村 齊内村 栗澤村 田川村 八幡林村 賢木村 戸地谷村 新谷地村 中田新田村 本堂城回村 三本扇村 高梨村	赤平村 君ヶ野村 勝手村 荳ヶ澤村 長濱村

署 察 警

一 圓毛馬内分署
同國同
内村 全

毛馬内村 岡田村 未廣村 瀬田石村
 錦木村 草木村 平元村 大湯村
 小坂村 大地村 上向村 山根村
 荒谷村 小坂嶺山

四百四十八

○秋田縣令第六十四號 明治二十年六月六日
 警察取締ニ關シ所管警察署ノ認可ヲ受クヘキ條件中左ニ掲クル事項ハ自今所管分署ノ認可ヲ受クヘシ

- 一 烟火製造所願ノ事
- 一 蝗蟲驅除ノ爲メ焚火願ノ事
- 一 有害鳥獸狩取願及威銃願ノ事
- 一 「ハツバ」(工事ノ爲メ火藥ヲ以テ)
- 一 火夫防ヘ報酬金増與ノ事

○秋田縣令第二十三號 明治廿一年四月二日

本縣警察區衙中村落ニ設置シタル巡查派出所ヲ廢止シ更ニ各警察署所管ヲ分設シテ巡查ノ責任區ヲ設ケ左ニ掲クル町村ニ巡查駐在所ヲ置キ本年四月十五日ヨリ施行ス
 但責任區ノ組合町村ハ退テ告示ス

秋田警察署所管

南秋田郡秋田手形新町上丁下丁同谷地町上丁下丁ノ内

二十二年
令第十九號

増置

同	郡秋田上中嶋本町中町ノ内
同	郡秋田保戸野愛宕町
同	郡秋田西小屋町上長町ノ内
同	郡秋田檜山登町廻町ノ内
同	郡秋田檜山本新町同虎ノ口新町ノ内
同	郡秋田檜山上本丁同中丁同本丁下丁ノ内
同	郡秋田保戸野表鉄砲町
同	郡秋田大工町上龜ノ丁ノ内
同	郡秋田大町一丁目同二丁目ノ内
同	郡秋田茶町梅ノ丁同菊ノ丁ノ内
同	郡秋田豐嶋町柳町ノ内
同	郡秋田本町六丁目十八条ノ内
同	郡秋田室町鍛冶町ノ内
同	郡秋田馬喰町
同	河邊郡牛嶋村
同	南秋田郡八橋村
同	秋田警察署所管
同	南秋田郡 神田村
同	全郡 目長崎村
同	南秋田郡 添川村
同	全郡 五十丁村

第四類 第一 警察構成及例規

四百四十九

花輪警察署所管

鹿角郡	宮麓村字小豆坂	鹿角郡	長井田村字三ヶ田
全郡	尾去澤鏡山字笹子屋	全郡	柴内村
鹿角郡	花輪警察署毛馬内分署所管		
鹿角郡	末廣村字松山	鹿角郡	大湯村
全郡	上向村字鳥越	全郡	小坂村

○秋田縣令第二十四號 明治廿一年四月十一日
 警察上ノ取締ニ屬スル諸願届中左ニ掲ケル事項ハ人民ノ便宜ニ依リ所管警察署又ハ分署宛テ以テ所轄ノ巡查駐在所へ差出スコトヲ得

- 一 警察取締上ニ屬スル諸營業願届
但簿冊看板等ノ檢印記號ヲ要ス及至急ニ係ル願届ハ此限ニ在ラス
- 二 街路取締規則ニ關スル願届
但通行停止及至急ニ係ルモノハ此限ニ在ラス
- 三 蝗蟲驅除ノ爲メ焚火願
- 四 煙火打揚願
- 五 放樂(見料坐科等ヲ)興行願
(徴セサルモノ)
- 六 銃砲所持ノ者轉居及改氏名届
- 七 徵兵相當者逃亡及失踪届
- 八 盜難届

九 遺失届

- 十 拾物届
- 十一 祭典法會届
- 十二 說教届
- 十三 止宿入届

○秋田縣令第二十一號 明治廿二年二月二十三日
 警察之取締ニ屬スル諸願届中左ニ掲ケル事故ハ人民ノ便宜ニ依リ口頭又ハ郵便はかきヲ以テ爲スコトヲ得

- 一 遺失物紛失物流失物ニ關スル届
口頭又ハ郵便はかきヲ以テ爲スコトヲ得ヘキ件
- 一 迷子菓子ニ關スル届
- 一 獸類逃走届
- 一 盜難届
- 一 法會說教祭典届
- 一 屠場并ニ屠獸ニ關スル届
- 一 鐵砲所持ノモノ轉居又ハ改氏名届
- 一 山野火入届
- 一 製氷貯藏場之封印開印ニ關スル届
- 一 養場許可ノ届

- 四百五十八
- 一 警察ノ取締ニ屬スル營業者ノ開廢業及轉屆改氏名代換等ニ關スル屆
 - 一 芝居休業屆
 - 一 塵芥燒棄屆
 - 一 墓地及火葬場管理者ノ住所姓名屆
 - 一 劇場寄席落成屆
 - 一 放樂興行屆
 - 一 説論願
 - 一 拾物屆
 - 一 漂着物理藏物ニ關スル屆
 - 一 街路取締規則第七條ノ各項ニ關スル願
 - 一 質屋及古物商帳簿檢印願
 - 一 理火葬認許書檢印願
 - 一 火災檢視願
 - 一 變死人檢視願
 - 一 留置場
 - 一 囚人へ面會願
 - 一 留置場
 - 一 囚人へ入品願
 - 一 難波船屆
 - 一 被監視人ノ歸郷屆

一 休業ノ娼妓渡世ヲ爲サントスルトキ鑑札下付願
 一 前各項ノ外戸長ノ與書ヲ要スヘキ明文アラサル屆

○告示第九十七號 明治廿一年十二月十八日
 本年四月秋田縣令第廿三號ヲ以テ頒布シタル巡查責任區組合町村列表之通相定ム

巡查責任區組合町村表

第 種 目	駐在所名	區 名	組 合	町 村	名
秋	南秋田郡手形新町上丁	第一號區	手形東新町	全西新町	全新町上丁
	下丁全谷地	第二號區	全堀反町	手形村	全下丁
	ノ内		廣面宇蛇野	全谷地	
全郡秋田上	第二號區	手形休下町	全本新町	上中嶋本丁	
中嶋本町同	第三號區	匠町 新中島土手町	全本丁	全中丁	
戸野受岩町		保戸野本丁	全上丁	全愛岩西丁	
全郡秋田西	第四號區	川堀反町	全上丁	全愛岩	
全郡秋田西	第四號區	土手長町上丁	全中丁	全中横丁	
全郡秋田西		全中丁	全末丁	全末丁	
長野ノ内	第四號區	長野町	全末丁	全末丁	
全郡秋田西		全末丁	全末丁	全末丁	

第四類第一 警務構成及例規

署															
十五		署分川此下				出張所									
全	五十目村	黒坪村	濱井川村	船橋村	大久保村	下川蛇村	小泉村	笠岡村	五十丁村	全	全	全			
第二號區	第一號區	第五號區	第四號區	第三號區	第二號區	第一號區	第八號區	第七號區	第六號區	第五號區	第四號區	第三號區			
五十目村 野田村 小池村	五十目村 西野村 上樋口村	田村 大麥村 保野子村 寺澤村	黒坪村 井内村 宇治木村 八田大倉村 赤澤村 菟	濱井川村 大川村 今戸村 下樋口村 北川尻村 坂	本村 小竹花村 飯塚村	船橋村 岡井戸村 上此川村 龍毛村 槻木村 山田	大久保村 八丁目村 亂橋村	下川蛇村 和田妹川村	高岡村 浦山村 堀内村 岩瀬村 下刈村 小泉村	飯嶋村 飯丁村 飯田村 八柳村 四ッ屋	笠岡村 青崎村 小友村 吉田村 片田村 黒川村	村 小又村 白山村 白山 石名坂村	五十丁村 道川村 中村 岩城村 保多野村 湯ノ里	土崎港水覺町 全加賀町 全小嶋町 全香町 全一騎	土崎港上酒田町 全下酒田町 全旭町 全愛宕町

所																																										
分越船				署分目																																						
箱井村	鶴木村	瀧川村	増川村	船川村	脇本村	典農村 字二田	全	船越村	馬場目村 字中村	中津又村 字脇村	淺見内村	一日市村	箱井村	第九號區	第八號區	第七號區	第六號區	第五號區	第四號區	第三號區	第二號區	第一號區	船越村	馬場目村 館越村	高崎村	久保村	中津又村 黒土村	富田村	淺見内村 湯ノ又村	小倉村	下山内村	大町村 川崎村 字谷地 中村	浦横町村	石崎村	夜叉袋村	浦						
箱井村	鶴木村	瀧川村	増川村	船川村	脇本村	典農村 大崎村	典農村 拂戸村 字拂戸	船越村	馬場目村	中津又村	淺見内村	一日市村	箱井村	第九號區	第八號區	第七號區	第六號區	第五號區	第四號區	第三號區	第二號區	第一號區	船越村	馬場目村	館越村	高崎村	久保村	中津又村	黒土村	富田村	淺見内村	湯ノ又村	小倉村	下山内村	大町村	川崎村	字谷地	中村	浦横町村	石崎村	夜叉袋村	浦

警 館													
分 區		集 區		轄 區									
早口村	綴子村	小檜村	七日市村	鷹巢村	白澤村	釋迦内村	川口村	雪澤村	上代野村	同	全	全	
第五號區	第四號區	第三號區	第二號區	第一號區	第九號區	第八號區	第七號區	第六號區	第五號區	第四號區	第三號區	第二號區	
早口村 外川原村 長坂村	綴子村	小檜村 前山村 坊澤村 今泉村	七日市村 小森村 脇神村 中屋布村	鷹巢村 桑村	白澤村 長走村 橋桁村 粕田村 花岡村	釋迦内村 商人留村 松峯村 沼館村 松木村	川口村 立花村 山田村 岩瀬村	雪澤村	上代野村 大茂内村 茂内村 小館花村 根下戸村	片山村	關居町 同上下大町 同古川町 川子町 同愛宕町 同	大館町 同赤館町 全櫻町 全向町 全裏町 同通町 同下大町 同	大館町 同足輕町 全新榮町 全藤町 全正院町 全谷地町 全島地小館花村

大 管												
直	署 分 田 和			署 分 屋 新				署				
	大館町	舟岡村	三内村	戸島村	和田村	種澤村	椿川村	石田坂村	全	百三段新屋村	西洞村野石	戸賀村
第一號區	第四號區	第三號區	第二號區	第一號區	第五號區	第四號區	第三號區	第二號區	第一號區	第十二號區	第十一號區	第十號區
大館町 大工町 全柳町 全風呂屋町 全馬口勞町 全中町	船岡村 船澤村 神内村 諸井村 高岡村 赤平村 大張野村 和田村 宇坂本 宮崎 石川 式田	三内村 岩見村 大澤村	戸島村 松淵村 北野田高屋村 畑谷村 小阿地村 古野村 豐成村 末戸松本村 御所野村	和田村	尾鳥村 種澤村 相川村 女米木村 左手子村 戸賀澤村 平	椿川村 平澤村 石田村 妙法村 田草川村 芝野新田村 下	石田坂村 豐卷村 濱田村	百三段新屋村	百三段新屋比内南村 百三段新屋村		戸賀村 島村 西黒澤村 鹽濱村 加茂青砂村	北浦村 北浦表町 野村 湯本村 西水口村 眞山村

署 察													
田 扇		署 分 澤 內 米											
仁井田村	餌釣村	扇田村	木戸石村	李岱村	鎌ノ澤村	沖田面村	小澤鑛山	荒糠村	水無村	阿仁前田村	米内澤村	野口村脇神	
第三號區	第二號區	第一號區	第九號區	第八號區	第七號區	第六號區	第五號區	第四號區	第三號區	第二號區	第一號區	第六號區	
仁井田村 白澤水澤村 本宮村 八木橋村 小坪澤村	餌釣村 山館村 達子村 片貝村 新館村 味喰内村	扇田村	木戸石村 增澤村 本城村 下杉村	李岱村 福田村 新田目村 羽根山村 根田村 芹澤村	小澤田村 堂川村 鎌ノ澤村 佛社村 杉花村 福館村	沖田面村 大森村 南澤村	小澤鑛山 荳草鑛山 一ノ又鑛山 二ノ又鑛山	荒糠村	水無村 銀山町 吉田村 五味堀村 小淵村 小糠村	三枚鑛山 眞木村 鑛山	阿仁前田村 浦田村 桂瀬村 小又村 根森田村 森吉村 水無村	米内澤村 浦田村字寄延 同白坂本城村字向木城	

署 察													
代 能		署 分											
直		署 分											
淺内村	石川村	鶴形村	檜山町	全	全	全	全	能代町	十二所町	大葛村	笹館村	板澤村	
第九號區	第八號區	第七號區	第六號區	第五號區	第四號區	第三號區	第二號區	第一號區	第七號區	第六號區	第五號區	第四號區	
淺内村 川戸川村 柳村	石川村 外荒卷村 内荒卷村 小手萩村 磐村 竹生村	鶴形村 田床内村 扇田村 鑛淵村	檜山町 中澤村 上母休村	能代町ノ内能代町 能代島町 同富町	能代町 同南中町 能代町ノ内能代町 同新町 同出戸町 同本町	能代町 同馬口勞町 同上町 同大町 同長根町 同御指南町	能代町 同後町 同下川反町 同盤若町 同清助町	能代町 同上町 全羽立町 全幸町 全上川反町	能代町 同上町 同中町 全羽立町 全幸町 全上川反町	十二所町 道目木村 中山村 輕井澤村 曲田村 猿間村 高原村	大葛村 獨鈷村	笹館村 谷地中村 中野村	赤石村 板澤村 小袴村 大披村 岩川村 大子内村 杉澤村 比内前田村 下川戸村 樞崎村

警 察 署									
轄			森 岡 分 署				二 ッ 井		
第十號區	堀谷村	沼田村	坂形村	比八田村	石川村	字大村	向能代村	瀨形村	字藤、産物
第十一號區	向能代村	落合村	眞壁地村	吹越村	荷八田村	水澤村	瀨形村	字藤、産物	朴
第十二號區	水澤村	高野々村	田中村	目名瀨村		八森村	八森村	岩館村	
第十三號區	八森村	岩館村				森岡村	森岡村		
第一號區	森岡村					鷲川村	川尻村	久米岡村	濱田村
第二號區	鷲川村	川尻村	久米岡村	濱田村	大口村	鹿渡村	森岡村	字楓田、泉八日、晝寝、安戸六	豐岡金田村
第三號區	鹿渡村	鯉川村	天瀬川村	森岡村	字二ッ森	豐岡金田村	志戸橋村	大森村	外岡村
第四號區	豐岡金田村	志戸橋村	大森村	外岡村	鷲川村	塚、餅ノ村、十八村、鷲ノ集			
第五號區	下岩川村	森岡村	字木戸村、上巖、中ノ村、山口			上岩川村			
第六號區	上岩川村					二ッ井村	荷上場村		
第一號區	二ッ井村	荷上場村				藤琴村	太良嶺山	大澤村	
第二號區	藤琴村	太良嶺山	大澤村			柏毛村	矢坂村	荷上場村	字グミノ木
第三號區	柏毛村	矢坂村	荷上場村	字グミノ木					

四百六十八

管 本 庄									
分 署					直				
梅内村	第四號區	梅内村	種村		飛根村	第六號區	切石村	七餅村	田代村
常盤村	第五號區	常盤村	柳村	久喜澤村	外割田村	天内村	老松村		
本庄町	第一號區	本庄町	同古雪町	同觀音町	同瀨ノ町	同田町			
同	第二號區	同中横町	同大町	同裏尾崎町	同上横町				
同	第三號區	本庄美倉町	同谷山小路	同中堅町	同表尾崎町	同			
同	第三號區	花畑町	同赤沼町	同本田仲町	同東町	同谷地町	同		
出戸村	第四號區	石脇屋町	本庄後町	同日役町	同獵師町	同鍛冶町			
東鮎川村	第五號區	出戸村	沼田村	西目村	海士割村				
前郷村	第六號區	東鮎川村	南福田村	玉ノ池村	宮内村	埋田村	西		
荒町村	第七號區	前郷村	久保田村	蟹澤村	土倉村	山本村	新上條		
館村	第八號區	荒町村	萬願寺村	大澤村	金山村	南ノ股村	北ノ		
		澤村	土谷村	福山村	畑谷村	山出村	大		
		館村	柳生村	鳥川村	鮎瀬村	上野村	雪車町村		
		渡澤村	宮澤村	湯澤村	嶋田目村	大梁村	山内村		

第四類 第一 警察署成及例規

四百六十九

警 察 署													
島 矢		署 分 田 龜				轄							
元町村	矢島町	新波村	長濱村	内道川村	松ヶ崎村	龜田町	小栗山村	長坂村	新澤村	内黒瀬村	老方村	藏村	
第二號區	第一號區	第五號區	第四號區	第三號區	第二號區	第一號區	第十四號區	第十三號區	第十二號區	第十一號區	第十號區	第九號區	
新庄村	元町村	矢嶋々々町	新波村	長濱村	内道川村	松ヶ崎村	龜田大町	小栗山村	長坂村	新澤村	内黒瀬村	老方村	藏村
立石村	木在村	全田中町	向野村	桂根村	君ヶ野村	六呂田村	龜田々々町	新田村	葛岡村	高尾村	中館村	館合村	法内村
川邊村	荒澤村	七日町村	碓田村	八田村	勝手村	神ノ澤村	龜田最上村	瀧村	平嶋村	松本村	深澤村	黒淵村	杉森村
坂ノ下村		城内村	神ヶ村	柗岡村	二百村	上蛇田村		岩ノ目澤村	富田村	加々澤村	米坂村	田代村	宿村
			菅ヶ澤村	名ヶ澤村	道川村	觀川村		羽廣村	上蛇田村	大倉澤村	大谷村	大浦村	
			福			赤			福	北福正村	赤田村		

所 管 大												
直		署 分 越 鹽				署 分						
白岩村	豐受村	長野村	賢木村	四ッ屋村	關村	平澤村	金浦村	伊勢居地村	鹽越村	中直根村	上笹子村	上川内村
第五號區	第四號區	第三號區	第二號區	第一號區	第五號區	第四號區	第三號區	第二號區	第一號區	第五號區	第四號區	第三號區
白岩村	豐受村	長野村	賢木村	四ッ屋村	中ノ澤村	平澤村	金浦村	伊勢居地村	鹽越村	中直根村	上笹子村	上川内村
白岩廣久内村	長谷川村	上野村	黒鎧村	高關上郷村	大須郷村	兩前寺村	飛村	水澤村	大飯郷村	下直根村	下笹子村	伏見村
園田村	黒澤村	東長野村	野口村	新谷地村	川袋村	宍内村	飛村	釜ヶ台村	長岡村	猿倉村	才ノ神村	下川内村
	大神成村	下鷲助村	沖ノ郷村	長戸呂村	大砂川村	小國村	飛村	冬師村	小荒村	才ノ神村	上直根村	栗澤村
	豐岡村	北長野村	國見村	松倉村	洗釜村	馬場村	飛村	畑村	前川村	上直根村		小川村
	田川村				西	田狐村	飛村	寺田	三森			

曲												
警						察						
角		轄										
全	角館町	全	全	大曲村	神宮寺村	南檜岡村	外小友村	内小友村	藤木村	高梨村	板見内村	横澤村
第二號區	第一號區	第十六號區	第十五號區	第十四號區	第十三號區	第十二號區	第十一號區	第十號區	第九號區	第八號區	第七號區	第六號區
下町 全田町上丁 全竹原町 岩瀬町 下瀧野町 字押切	角館中町 全上町 全下町 全新町 全岩瀬町 全田町上丁 全竹原町 岩瀬町 下瀧野町 字押切	飯田村 川ノ目村	大曲村	花館村	神宮寺村 北檜岡村	南檜岡村	外小友村	川村	藤木村 下深井村 和合村 戸崎村 東川村 六郷西根村 小貫高畑村 大曲村字松倉 開キ	高梨村 拂田村 土崎村 橋本村 戸地谷村	堀見内村 福田村 板見内村 本堂城廻村 横堀村	横澤村 川口村 永代村 東今泉村 大田村 齊内村 小神成村 駒場村 中里村 三本扇村 川口鑛山

四百七十二

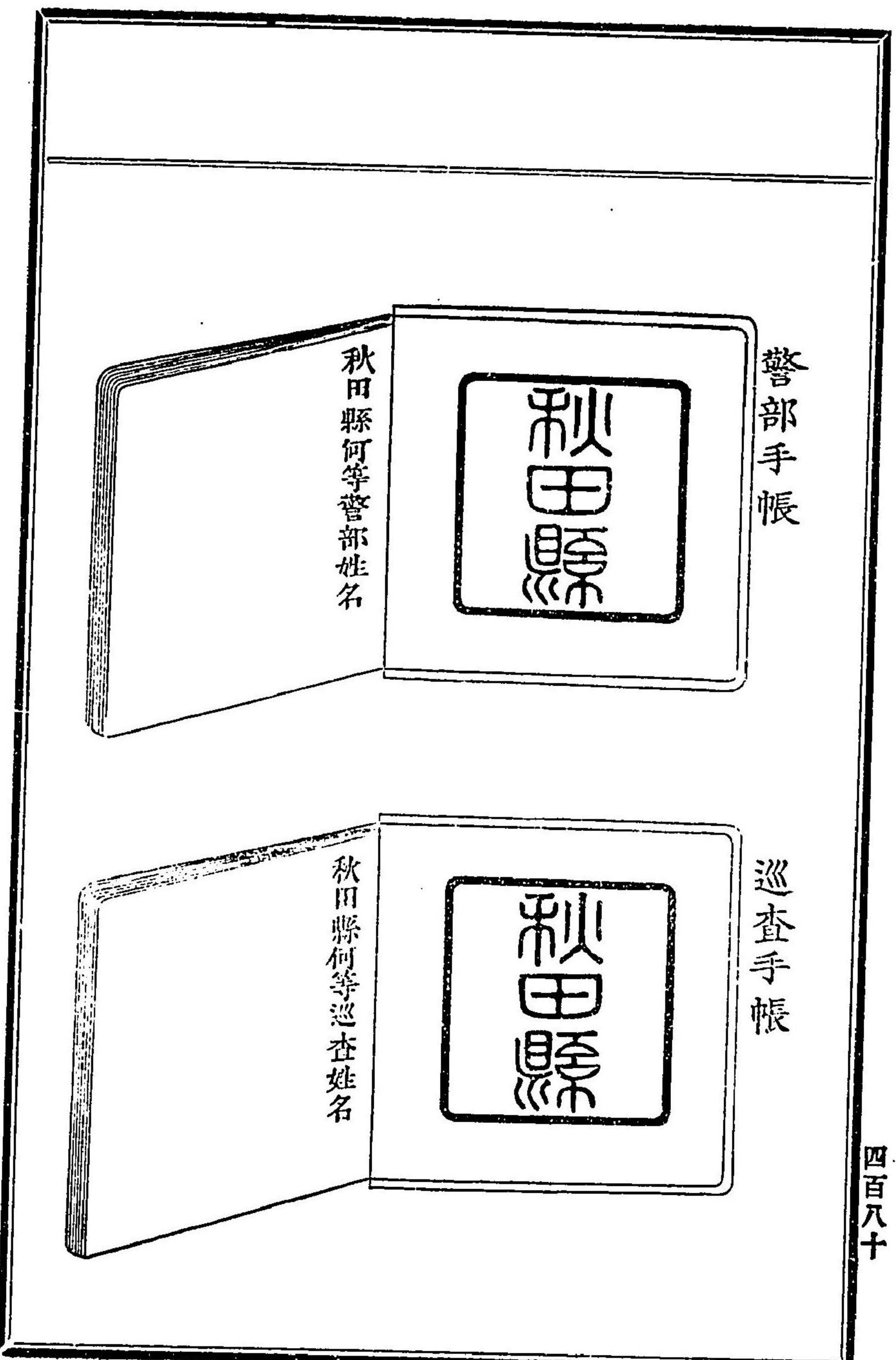
署												
所						署						
刈		分 郷 六				分 館						
刈和野村	千屋村	畑屋村	飯詰村	金澤西根村	金澤本町村	全	六郷村	下檜木内村	生保内村	卒田村	西荒井村	雲然村
第一號區	第七號區	第六號區	第五號區	第四號區	第三號區	第二號區	第一號區	第七號區	第六號區	第五號區	第四號區	第三號區
刈和野村	千屋村 六郷東根村 浪花村 金澤東根村	畑屋村 鎗田村 羽貫谷地村 安城寺村 上野田村 小荒川村 中野村 野中村	飯詰村 境田村 天神堂村 南町村 上深井村 佐野村	金澤西根村	金澤本町村 金澤中野村 安本村 金澤村 野荒町村	全琴平村	古町 六郷村字馬喰町 全本道町 全西高方村 全東高方町	下檜木内村 上檜木内村 玉川村	生保内村 田澤村 瀧村	卒田村 神代村 梅澤村 小松村 岡崎村 刺卷村	西荒井村 角館東前郷村 上荒井村 小淵野村 門屋村 西明寺村 小山村	雲然村 八割村 下延村 西長野村 川原村 山谷川 崎村 小勝田村

第四類 第一 警察構成及例規

四百七十三

警 察 署												
淺 舞 分 署			角 間 川 分 署				轄 轄					
柏木村	植田村	全	八澤木村	大森村	袴形村	田根森村	全	角間川村	上境村	赤川村	新藤柳田村	
第四號區	第三號區	第二號區	第一號區	第六號區	第五號區	第四號區	第三號區	第二號區	第一號區	第十號區	第八號區	
柏木村 谷地新田村 西野村 常野村 道地村 南形村 深井村 源太左馬村 造山村 東里村字北澤	植田村 陸合村 越前村 下鍋倉村 木下村 谷地新田村字中村 淺舞村字平村	淺舞村	八澤木村 坂部村	大森村 上溝村 猿田村	袴形村 板井田村 阿氣村 十日町村	田根森村 百萬刈村 八柏村 黒川村 阿氣村字柏木	角間川村	角間川村	上境村 下境村 杉ノ目村 杉澤村 陸成村 八幡村 静ヶ町村	赤川村 猪ノ岡村 清水村 新田村 塚堀村 下八丁村 上八丁村 三本柳村 赤坂村字伏山	新藤柳田村 外ノ目村 大屋寺内村 大屋新田村 婦氣大堤村 赤坂村 安田村	

管 轄											
和 野 分 署					直 轄						
半道寺村	大澤郷宿村	強首村	境村	荒川村	横手町	全	全	全	全	大松川村	
第二號區	第三號區	第四號區	第五號區	第六號區	第一號區	第二號區	第三號區	第四號區	第五號區	第六號區	
半道寺村 小杉山村 心像村 西今泉村 神宮寺村 寺留井谷地 戸月 八石 北橋岡村 高屋敷 高鼻 寺館尻引村 高城村 杉山田村 大澤郷宿村 正手澤村 北目村 圓行寺村 九升田村 金山澤村 木原田村 小種村 峯吉川村	境村 上淀川村 中淀川村 下淀川村	荒川村 稻澤村	横手大町中丁 全上丁 全下丁 横手榮通町 全四日町上丁 全四日町中丁 全四日町下丁	横手本町 全横町 全根岸下町 全裏町 全下ノ町 成村字明永 全新町上町 全新町下町 全馬場崎町 陸崎町 全羽黒上町 全中丁 全下町 全下嶋崎町 全上嶋崎町 全羽黒新町 全御免町 全野御扶持町 全沼田町 全山ノ手新町 全根岸上町 全上野臺町 陸成村字澤	横手銀治町 横手前郷村	横手々々町 横手前郷村字西前郷 陸成村字下モ町	大松川村 小松川村 黒澤村 土淵村字平石 内淵平	土淵村 大澤村 平野澤村 笹村 南郷村 三ツ又村			



○達第百十一號

明治廿一年九月十一日

郡役所 戸長役場

火防警察規程別紙之通相定ム

火防警察規程

第一章 通則

第一條 警部長ハ管内火防一切ノ事務ヲ総判シ其執行ヲ監督ス

第二條 警察署長ハ所管内ノ火防事務執行ノ責ニ任シ指揮係以下ヲ命ス

第三條 火防事務執行ニ付警察署ニ左ノ職員ヲ置ク

指揮長

警察署長ヲ以テ之ニ充テ火防組ヲ部署シ副指揮長以下ヲ指揮シ現場一切ノ事ヲ統督ス

副指揮長

次席警部警部補ヲ以テ之ニ充テ指揮長ノ指揮ヲ受ケ専ラ部署配置ヲ掌リ指揮係以下ヲ監督ス

指揮係

外勤巡查ヲ以テ之ニ充テ指揮長ノ命ヲ受ケ巡查及消防夫ヲ監督ス

傳令使

警護手

内外勤巡查ヲ以テ之ニ充テ現場ニ於テ人命財産ヲ保護シ雜沓盜偷ヲ警防ス

第四類第一

警察構成及例規

- 第二十條 警護手ハ左ノ各項ヲ負擔スヘシ
- 一 老幼婦女其他危險ニ罹ル者ヲ救護スルコト
 - 二 家産及文書(官衙及會社)ノ搬出ニ助力スルコト
 - 三 水利ヲ示シ便宜消防ニ助力スルコト
 - 四 事故ナク出火場ニ群集スル者ヲ制止スルコト
 - 五 搬出シタル家産ノ紛亂ニ注意スルコト
 - 六 飛火ヲ防キ盜倫ヲ警防スルコト
- 警護線ヲ設ケタルトキハ其持場ニ於テ左ニ掲クルモノ、外線内ニ入ラシムヘカラス
- 一 線内ニ家屋ヲ有スルモノ
 - 二 前項ノ親屬知人ニシテ救護ニ從事スルモノ
 - 三 線内ノ官衙ニ奉職スルモノ
 - 四 線内ノ校舎又ハ會社ニ勤仕スルモノ
- 第二十一條 巡查ハ鎮火ニ至ルト雖トモ指揮號ノ認可ヲ得ルニアラサルハ退場スヘカラス
- 第二十二條 休息巡查出場シタルトキハ直ニ上官ニ届出ツヘシ
- 第二十三條 休息巡查疾病其他ノ事故ニ依リ近火ニ出場セサルトキハ其事由ヲ詳記シ翌日處屬署長ニ届出ツヘシ
- 第二十四條 各課雇員ハ奉職官署又ハ其近傍ニ出火アルトキハ速ニ出頭スヘシ

警察署

明治十二年三月廿五日

○ 巡查手帖取扱心得左ノ通相定候條此旨相達候事

巡查手帖取扱心得

- 十三年九月八日改正
- 第一條 手帳ハ秋田縣ノ印鑑ヲ兼ネ用ユルヲ以テ則チ巡查タルノ証トスルモノナリ故ニ官服ヲ着スル節ハ決シテ身体ヲ離スヘカラス
 - 第二條 當直巡視先等ニ於テ警察ト關係ノ事項ハ必ズ之ヲ手帳ニ詳記シ歸署ノ上當直警部ノ點檢ヲ乞フハ勿論平日非番遊歩ノ際ト雖トモ警察ニ關スル事件ハ都テ筆記シ次番當直ノ節點檢ヲ得亦警部アラサル分署ニ於テハ其詰長ニ手帳ヲ差出シ點檢ヲ乞フヘシ但至急緊用ノ事件ハ即時報告スヘシ
 - 第三條 公務外ノ事件ハ決シテ手帖ニ記入スルヲ許サス其全葉ヲ書尽ストキハ署長又ハ當直警部ノ檢査ヲ經舊帖ノ消印ヲ乞ヒ新帳ヲ受取ヘシ
 - 第四條 手帳ハ筆記スルハ可成の細字ヲ以テシ亂筆大書スルヲ許サス
 - 第五條 手帳ヲ遺失シ或ハ毀損若クハ此規則ヲ履マサルモノハ罰例ニ照シ相當ノ處分ヲシ尙其代價ヲ賠償セシムルモノトス
- 但職務上毀損スルモノ、如キハ此限ニアラス
- 呼子笛用方心得左ノ通相定候條此旨相達候事
- 呼子笛用方心得
- 明治十二年十一月廿六日
- 警察署

警察署

明治十二年十一月廿六日

○ 呼子笛用方心得左ノ通相定候條此旨相達候事

呼子笛用方心得

呼子笛ハ非常警備ニ属スル器ニシテ其報告ノ要具ナルヲ以テ巡查ハ當非番ヲ不論暫時モ
 身体ヲ離ヘカラサルモノニシテ其之ヲ用ユル左ノ條件ニモルヘシ

- 一 非常應援等ヲ要スルキハ其報告共ニ三聲ヲ以テスヘシ
- 一 犯罪人捕縛等ニテ互ニ中合手掛リノ相圖ヲナスカ如キハ報告互ニ一聲ヲ以テスヘシ

但本條ノ場合ニ於テ一時其手順ヲ定ムル等ノ節申合ヲ以テ相圖ヲナスハ時宜ニ
 ヨリ若シカラス

- 一 其報聲ヲ聞認メタル巡查ハ其持區ノ内外遠近ヲ問ハス速ニ駆付ヘシ決シテ迂延遲
 澁スルヲ許サス
- 一 呼子笛ヲ遺失シ或ハ毀損スルモノハ罰例ニ照シ相當ノ所分ヲナシ尙其代價ヲ賠償
 セシム

但職務上不得止場合ニ於テハ此限ニアラス
 右ニ定ムルモノ、外惣テ發聲スルヲ許サス

○無號
 明治十七年十一月廿九日
 巡查懲罰處分内規則別紙ノ通制定候條此旨相達候事
 但從前ノ巡查懲罰處分手續ハ廢止ス

巡查懲罰處分内規則
 第一章 總則

第一條 本規ハ其處罰異同ナカラシメシカ爲ニ之ヲ設ルモノトス

第二條 本署長ハ各署長ノ申告ト其犯狀トヲ審案シ尙事實分明ナラサルモノハ主務官若
 シツハ所屬木分署長ヲシテ之ヲ推問セシムルコトアルヘシ

第三條 分署長ハ其懲罰ニカ、ルモノト思料シタルトキハ本人ヲシテ進退書ニ通テ出サ
 シメ尙其証憑物件ヲ付シ之レニ意見書ヲ副ヘ本署長ヲ經由シ長官ヘ具狀スルモノトス

第四條 同事件三回以上ヲ犯スモノハ犯ス毎ニ懲罰金三分ノ一ヲ增加ス

第五條 數犯同時ニ發覺スルトキハ各條項ニヨリ懲罰ス

第六條 第四條第五條ノ罰金ハ一ヶ月々俸ヲ超過スルヲ得ス

第七條 第九條以下列記スル條項ノ外職務上怠慢及ヒ過失ノ所爲ト認ムルトキハ其犯狀
 各條項ニ比照シ懲罰スルモノトス

第八條 職務執行ノ場合不得止シテ屬具ヲ毀失又ハ汚損シタルモノハ其罰ヲ論セス

第二章 罰則

第九條 左之各項犯シタルモノハ月俸半月以上ノ罰金ニ處シ又ハ其職ヲ免ス

- 一 上官ノ命令ニ違背シタルモノ
- 二 官與ノ物品ヲ故ニ毀棄シタルモノ
- 三 機密ヲ漏泄シタルモノ
- 四 上官ニ對シ詐リノ陳述ヲナシタルモノ
- 五 受理スヘキ申告ヲ棄却シ又之レニ應セサルモノ
- 六 看護ノ囚人ヲ取逃シタルモノ
- 七 出務時間三時以上經過セシメタルモノ

十七年十二月十一日追加

十八年二月
二日追加
廿年二月二
十四日追加

- 八 事由ナクシテ休暇期限ヲ經過シ出務セサルモノ
 - 九 自己ノ關係シタル事件原被告ト私接シ又ハ酒宴シタルモノ
 - 十 職務ヲ離レ擅ニ遊興ニ會シタルモノ
 - 十一 非常ノ報鐘ヲ聞テ出頭セサルモノ
 - 十二 非常ノ場合無故其場ヲ退去シタルモノ
 - 十三 制服ヲ着用シ路傍又ハ店頭ニ睡眠シタルモノ
 - 十四 故ラニ巡視線路ヲ周巡セサルモノ
 - 十五 素行修ラズ警察ノ体面ヲ汚シタルモノ
- 第十條 左ノ各項ヲ犯シタルモノハ月俸十分ノ一ヨリ少カラス十分ノ四ヨリ多カラサル罰金ニ處ス
- 一 警部補代理巡查ノ指揮ヲ背セサルモノ
 - 二 出務中暴言ヲ發シ喧噪シタルモノ
 - 三 酩酊シテ勤務ヲ欠キタルモノ
 - 四 制帽遺失シタルモノ
 - 五 出務時間一時以上ヲ經過セシメタルモノ
 - 六 上官ノ命令ヲ誤リ時機ヲ失シタルモノ
 - 七 詰所ノ盜難ニカ、ルヲ覺ラサルモノ
 - 八 猥ニ寄宿所内ニ他人ヲ引入レ飲酒シタルモノ
 - 九 囚人ヲシテ他人ニ面會セシメタルモノ

- 第十一條 左ノ各項ヲ犯シタルモノハ月俸百分ノ六ヨリ少カラス百分ノ九ヨリ多カラサルノ罰金ニ處ス
- 一 所屬署長ノ認リナクシテ部外ニ出行シタルモノ
 - 二 手帖ヲ遺失シタルモノ
 - 三 被服器具ヲ毀損シテ供用スル能ハサルモノ
 - 四 職務ニ掛ル願届等ノ依托ヲ受ケ之ヲ忘失シタルモノ
 - 五 看護シタル囚人ノ自死ヲ覺ラサルモノ
 - 六 出務時間三十分以上ヲ經過シ又之ヲ經過セシメタルモノ
 - 七 上官ニ對シ敬禮ヲ爲サ、ルモノ
 - 八 警部補代理巡查ニ對シ陳述ヲ詐リタルモノ
 - 九 自己ノ療養引籠中猥リニ外出シタルモノ
 - 十 猥ニ詰所又ハ寄宿所内ニ他人ヲ引入レタルモノ
 - 十一 巡邏中店頭又ハ路傍ニ飲酒シタルモノ
- 第十二條 左ノ各項ヲ犯シタルモノハ月俸百分ノ三ヨリ少カラス百分ノ五ヨリ多カラサルノ罰金ニ所ス
- 一 囚人ヲシテ猥リニ飲食セシメタルモノ
 - 二 出務中睡眠シタルモノ
 - 三 巡邏中無故人家ニ立寄タルモノ
 - 四 携帯スヘキ物品ヲ遺忘シテ出務シタルモノ

警甲第五十六號追加

- 五 日覆雨覆洞汕及革帶捕繩呼子笛遺失シタルモノ
- 六 巡邏又ハ護送中姿勢体装ヲ紊リタルモノ
- 七 巡視ノ事故有無ヲ申告セス服務表ニ記載セサルモノ
- 八 出務中擅ニ休憩シタルモノ
- 九 出務場所ヲ擅ニ離レタルモノ
- 十 同僚ニ對シ敬禮式ヲ爲サ、ルモノ
- 十一 出務時間十分以上ヲ經過シ又ハ之ヲ經過セシメタルモノ
- 十二 自己ノ當務ヲ私ニ同僚ニ依托シタルモノ
- 十三 巡視線路ヲ誤リタルモノ
- 十四 定期アル書類ノ准達ヲ怠リタルモノ
- 第十三條 左ノ各項ヲ犯シタルモノハ月俸百分ノ一ヨリ少カラス百分ノ二ヨリ多カラサルノ罰金ニ處ス其情輕キモノハ呵責ニ處ス
- 一 巡邏中他人ト談話シタルモノ
- 二 成規アル會日ニ無届不參シタルモノ
- 三 巡邏中諸物品ヲ購求シ又ハ徒ニ物價ヲ問ヒタルモノ
- 四 手帖ニ私事ヲ雜記シタルモノ
- 五 被服履具ヲ毀損シタルモノ
- 六 出務中制服ヲ解キ又ハ靴ヲ脱シタルモノ
- 七 出務時間十分以内ヲ經過シ又ハ經過セシメタルモノ

十八年八月
六日追加
二十年二月
二十四日追加

八 同ノ勤務ヲ私ニ依托ヲ受ケタルモノ

第十四條 第九條以下ニ該當スルモノニシテ其情狀原諒スヘキモノアルトキハ特ニ酌量減輕スルコトヲ得

第十五條 前各項ハ外奉職期限内正當ノ事由ナクシテ強テ解職ヲ請フモノハ懲罰免職ニ處ス

○第二十一號 明治十八年二月十七日 警察本署

本縣警察會議規則別紙之通改定候條此旨相違候事

警察會議規則

第一章 總則

第一條 本會ハ警察上ノ便否得失ヲ護セシカ爲メ之ヲ設ク

第二條 本會ハ通常會臨時會ノ二種トシ之ヲ討議會商議會ノ二類ニ分ツ

第三條 通常會ハ毎年一月七日之ヲ開キ會期十日以内トシ臨時會ハ臨時ニ之ヲ開キ會期五日以内トス

但開閉ハ縣令之ヲ命ス

第四條 討議會ノ議案ハ縣令之ヲ發シ商議會ノ議案ハ警部長之ヲ發ス

第五條 本會ノ決議ハ議長ヨリ縣令ニ開申スルモノトス

第六條 議員二名以上ノ同議ヲ以テ警察上ノ利害ニ關シ建議ヲ爲サントスルモノアラハ先ツ之ヲ會議ニ付シ可否ヲ決スヘシ

第二章 構成

第七條 議長ハ警部長ヲ以テ之ニ充ツ

第八條 議員ハ左ノ法ニ依リ之ヲ定ム

一 本署在勤警部警部補

一 各警察署長

前項ノ外特ニ縣令ノ指シタル警部警部補及准判任用係

第九條 本會ハ幹事二名及説明委員二名并ニ書記二名ヲ置キ議長之ヲ命ス

第十條 議長ハ會議一切ノ事務ヲ総提ス

第十一條 幹事ハ會議ノ庶務ヲ幹理シ若シ議長事故アルトキハ其代理タルヲ得

第十二條 議員ハ議案ニ就キ討論商議スルモノトス

第十三條 説明委員ハ議案ノ旨趣ヲ説明ス

但シ其資格ハ前條ニ同シ

第十四條 書記ハ會議一切ノ記録ヲ掌ル

第三章 議則

第十五條 議員過半数以上出席スルニアラサレハ當日ノ會議ヲ開クコトヲ得ス

第十六條 議事ハ午前一時ニ始リ同五時ニ終ル時宜ニ依リ議長之ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第十七條 議員ノ席次ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 議事ヲ開クトキハ議長書記ヲシテ議案ヲ朗讀セシムヘシ

第十九條 議事ヲ區別スル左ノ如シ

第一次會議案ノ採否ヲ討論ス

但シ疑義アルモノハ討論ニ先チ質問ヲ爲スコトヲ得

第二次會議案ノ逐條ヲ審議ス

第三次會議案ノ全体ヲ確定ス

第二十條 議事ノ都合ニヨリ第二次會ニ於テ議題ノ數條ヲ聯絡シ又ハ一條ヲ數節トシ第三次會ニ於テ全案ノ數條ヲ區分シ議決セントスルトキハ議長之ヲ決シ又ハ會議ノ決ヲ取ルヘシ

第二十一條 討論案ハ三次會ヲ經テ決定スルト一回ノ審議ヲ以テ決定スルトハ議長之ヲ決シ又ハ會議ノ決ヲ取ルヘシ

第二十二條 決議ハ起立法ヲ用ヒ過半数ニ依リテ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ可否スル所ニ依ル

第二十三條 起立ノ數ハ書記之ヲ點呼シ其決定ハ議長之ヲ陳告ス

第二十四條 議長ハ議事整理ノ爲メ議員ノ發言ヲ止メ又ハ議事ヲ中止スルヲ得

第二十五條 規則ノ外會議中ニ起リタル總テノ事件ハ議長之ヲ決シ又ハ會議ノ決ヲ取ルヲアルヘシ

第二十六條 議員ハ會議ニ方リ充分討論ヲナスヲ得ルモ人身上ニ就テ褻貶毀譽ニ涉ルヲ得ス

第二十七條 發言セントスルモノハ起立シテ各自ノ番號ヲ呼ビ議長ノ許可ヲ得ヘシ若シ二人以上同時ニ起立スルトキハ議長ハ其一人ヲシテ發言セシムヘシ

第二十八條 發言ハ議長ニ向ヒ之ヲナスヘシ議員互ニ語ヲ接スルヲ許サス
 第二十九條 議員ハ一議事ニ付兩説ヲ發スルヲ得ス若シ前説ヲ非トスルトハ取消ス
 第三十條 動議ハ原案ニ先チ可否ヲ決ス其說數派ナルキハ最原案ニ異ナルモノヲ先ニス
 第二十一條 辯論未ダ了ラスト雖トモ議長ニ於テ論旨已ニ尽キタリト見認ムルトキハ其
 決ヲ取リ得
 第三十二條 修正説ハ第二次會第三次會ニ於テ之ヲ提出スヘシ
 但二次會ニ於テ賛成ナキ者及三次會ニ於テ二名以上ノ賛成ナキモノハ之ヲ議題トナ
 スヲ得ス
 第三十三條 修正説ヲ提出シ及建議ヲナサントスルモノハ文案ヲ作り之ヲ議長ニ出シ又
 ハ議席ニ於テ陳述スヘシ
 第三十四條 議員二名以上ノ請求ニ依リ委員ヲ撰ミ議案ヲ調査セシメントスルキハ議長
 之ヲ決シ又ハ會議ノ決ヲ取ルヘシ
 第三十五條 委員ハ議員中ヨリ議長之ヲ命ス但奇數ヲ以テ之ヲ定ム
 第三十六條 委員ハ其付托セラレタル全案ヲ取捨シ或ハ之ヲ改竄スルヲ得其意見ハ多數
 ニ依リ之ヲ決シ以テ議長ニ報告スヘシ
 但議決セル精神ヲ變更スルヲ得ス
 第三十七條 動議ヲ提出シタル議員ハ委員會ニ列シ其趣旨ヲ弁明スルヲ得

但可否ノ數ニ入ルヲ得ス

第三十八條 會議ハ警察ニ從事スル吏員ニ限リ傍聽ヲ許ス但事宜ニ依リ議長ノ見込ヲ以
 テ之ヲ禁止スルコアルヘシ

○警甲第五十七號 明治十八年八月廿一日

警察本署

分署長協議會概則左ノ通相定候條此旨相達候事
 但明治十六年十月十二日達ハ廢止ス

分署長協議會概則

第一條 本會ハ警察事務商議ノ爲メ警察署ニ之ヲ設ク
 第二條 本會ハ毎年二月八月之ヲ開キ其會期ヲ二日以内トス
 第三條 議案ハ警察署長之ヲ發ス但會員ニ於テ會議ニ付セントスル條件アルトキハ會期
 三日前意見書ヲ以テ警察署長ニ差出スヘシ
 第四條 本會ノ議決ハ會長ヨリ警察署長ヘ開申スヘシ
 第五條 本會ハ左ノ職員ヲ以テ組織ス
 會長 警察署長以テ之ニ充ツ若シ事故アルキトハ代理ノ警部警部補其任ヲ受ク
 會員 警察署在勤警部警部補各分署長及外勤監督掛ヲ以テ之ニ充ツ
 書記 巡查又ハ等外出仕ヲ以テ之ニ充ツ
 第六條 會議一切ノ事務ハ會長ノ指揮スル所ニ依ルヘシ
 第七條 會員ノ席次ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ムヘシ
 第八條 發言セントスルトモノハ會長ノ許可ヲ受テ會員互ニ應答スルヲ得ス

第九條 議案ハ一回ノ議ヲ以テ確定スヘシ但數條ニ亘ルモノハ先ツ全体ノ採否ヲ議シ可
決シタルトキハ逐條ヲ商議スルモトス

第十條 決議ヲ要スル條件ハ過半數ヲ以テ可否ヲ決スヘシ

第十一條 議事ノ細則ハ會長之ヲ定ムヘシ

○警甲第五十九號

明治十八年八月廿二日

警察本部

本年七月内務省番外達巡查看守休暇概則被定候處本縣巡查休暇細則別紙之通相定候條此
旨相達候事

巡查休暇細則

第一條 巡查ノ休暇ハ事務ノ繁閑ニ依リ警察署ハ定員十分ノ一(掃數ハ一人)以下分署ハ
一名ツ、休暇セシムルヲ得

第二條 休暇ハ皆勤滿期ニ至リ之ヲ與フ其年數新任者ハ就職ノ日ヨリ勤續ノ者ハ皆勤滿
期ノ翌日ヨリ起算スヘシ但皆勤半年又ハ一ケ年ニ滿タヌシテ欠勤シタル者ハ更ニ其
翌日ヨリ起算スルモノトス

第三條 本則ノ休暇及職務ニ依リ感染シタル傳染病治療日數ハ欠勤ニ算入セス忌引日數
ハ勤續スル場合ニ於テ算入セサルモノトス

第四條 當番ノ者勤務時間二分ノ一以上服務シタル后欠勤スルトキハ仍ホ當日ヲ勤務ニ
算入スヘシ

第五條 休暇ハ歸省又ハ旅行スル者ニ限り一ケ年休暇ノ全部ヲ與フルヲ得其在勤地ニ
於テスルモノハ數回ニ分與ス但一回一週間ヲ過クルヲ得ス

十九年五月
警甲第二
百九十九號
改正

第六條 歸省又ハ旅行シタル者ハ必ス休暇限内ニ歸署スヘシ
第七條 歸省又ハ旅行中疾病ニ罹リ治療セントスルモノハ醫員ノ診案書ヲ添へ所属署長
ニ願出認可ヲ受クヘシ天災等ニ依リ限内歸署スル能ハサルモノハ該地警察署分署又ハ
戶長ノ証明書ヲ得所属署ニ届出ツヘシ
○警甲第三百十號 明治十九年三月十一日 警察本部

警察署行政事務處辨手續左ノ通相定ム
右相達ス

行政事務處辨手續

第一條 警察署長ハ一切ノ文書ヲ檢閲シ通常ノ手續ニ依リ處辨スヘキモノト即時ニ處決
スヘキモノトヲ區分スヘシ

第二條 通常ノ手續ニ從ヒ處辨スヘキモノハ(何部)ノ印ヲ捺シ主任ニ交付スヘシ
其至急ヲ要スルモノハ(急)ノ印ヲ捺スヘシ

第三條 主任ハ交付ノ順序ニ從ヒ當日内ニ處辨スヘシ檢査其他ノ事由アルニアラサレハ
翌日ニ延滞スルヲ得ス但(急)ノ印ヲ捺シタル者ハ順序ニ拘ラス即時處辨ニ着手スヘシ

第四條 即時ニ處辨スヘキモノハ(即決)ノ印ヲ捺シ處分方法ヲ示シ書記ニ交付シテ即時
ニ起案セシメ直チニ處辨スヘシ

其處辨ヲ終レハ該書類ヲ更ニ主務部ニ交付スルモノトス

第五條 即決處分ニ就テハ豫メ署長付屬書記ヲ定メ該事務ヲ負擔セシムヘシ

第六條 即決スヘキ事項左ノ如シ但實地ノ檢査等ヲ要スル場合ハ此限ニアラス

一 諸營業願ノコト
 一 諸興行願ノコト
 一 鑑札下渡及看板捺印願ノコト
 一 諸検査願ノコト
 一 前項ノ外総テ人民願伺届ノコト
 第七條 即決スヘキ事項ニ付取調ヲ要スルトキハ可成署長自ラ本人ニ接スヘシ其届出ニ止マルモノハ速ニ檢閲ヲ了シ受領済ノ旨ヲ達スヘシ
 第八條 人民諸願届ハ當務時間後ト雖トモ之ヲ受理スヘシ其時々至急ヲ要スルモノハ即決ノ手續ニ依リ當直警部ニ於テ處弁スヘシ
 第九條 第四條(捺印ノ手續)及第六條乃至第八條ハ警察分署ニモ之ヲ適用ス但其事務ハ分署長自ラ處弁スヘシ
 ○警甲第五百十號 明治十九年三月十七日
 警察上ニ係ル賞與及吊祭扶助療治料取扱手續別紙之通改定ス
 右相達ス
 警察本署
 賞與及吊祭扶助療治料取扱手續
 第一條 警察署長ハ所管内ニ於テ警察上ニ係ル有功及死傷者ニシテ賞與及吊祭扶助療治料等給與スヘキモノアルトキハ左ノ書類ヲ付添シ長官へ具上スヘシ
 但分署長ハ所屬署長ニ開申スヘシ
 拒捕ノ賊ヲ獲タルモノ

一 逮捕者ノ手續書
 自己ノ探偵ニヨリ檢舉捕獲シタルカ又ハ逮捕ノ命ヲ受ケ容易ク其處在ヲ知りタルカ及拒捕ニ用ヒタル兇器拒捕ノ時間捕獲ノ場合若シ人家ヲ離ル、トキハ其拒捕拒捕ノ模様其年月日時等詳記セシム
 一 被告ノ口供
 住所身分氏名年齢及罪トナルヘキ事實ト拒捕シタル事實ヲ拔書シタルモノ
 貨幣贗造者ヲ獲ルモノ
 一 逮捕者ノ手續書
 自己ノ探偵ニヨリ檢舉捕獲シタルカ又ハ逮捕ノ命ヲ受ケ容易ク其處在ヲ知りタルカ及贗造シタル場處貨幣ノ種類其巧拙行使ノ有無捕獲ノ模様其年月日時等詳記セシム
 一 被告ノ口供
 住處氏名年齢罪トナルヘキ事實及ヒ共犯者氏名等ヲ拔書シタルモノ
 一 逮捕者ノ手續書
 放火或ハ人殺ノ者ヲ獲ルモノ
 自己ノ探偵ニヨリ捕獲シタルカ若クハ逮捕ノ命ヲ受ケ容易ク其處在ヲ知りタルカ燒失シタルカ消止タルカ及人殺ノ場所圖面等詳記セシム
 一 被害者ノ始末書
 放火セラレタル場處消止メタル手續殺サレタル遺族ノ手續及年月日時等詳記セシム

一 諸營業願ノコト
 一 諸興行願ノコト
 一 鑑札下渡及看板檢印願ノコト
 一 諸檢査願ノコト
 一 前項ノ外總テ人民願伺届ノコト
 第七條 即決スヘキ事項ニ付取調ヲ要スルトキハ可成署長自ラ本人ニ接スヘシ其届出ニ止マルモノハ速ニ檢閱チ了シ受領濟ノ旨ヲ達スヘシ
 第八條 人民諸願届ハ當務時間後ト雖トモ之ヲ受理スヘシ其時々至急ヲ要スルモノハ即決ノ手續ニ依リ當直警部ニ於テ處弁スヘシ
 第九條 第四條(捺印ノ手續)及第六條乃至第八條ハ警察分署ニモ之ヲ適用ス但其事務ハ分署長自ラ處弁スヘシ
 ○警甲第五百十號 明治十九年三月十七日
 警察上ニ係ル賞與及吊祭扶助療治料取扱手續別紙之通改定ス
 右相達ス
 警察本署

賞與及吊祭扶助療治料取扱手續
 第一條 警察署長ハ所管内ニ於テ警察上ニ係ル有功及死傷者ニシテ賞與及吊祭扶助療治料等給與スヘキモノアルトキハ左ノ書類ヲ付添シ長官へ具上スヘシ
 但分署長ハ所屬署長ニ開申スヘシ
 拒捕ノ賊ヲ獲タルモノ

一 逮捕者ノ手續書
 自己ノ探偵ニヨリ檢舉捕獲シタルカ又ハ逮捕ノ命ヲ受ケ容易ク其處在ヲ知リタルカ及拒捕ニ用ヒタル兇器拒捕ノ時間捕獲ノ場合若シ人家ヲ離ル、トキハ其拒離拒捕ノ模様其年月日時等詳記セシム
 一 被告ノ口供
 住所身分氏名年齢及罪トナルヘキ事實ト拒捕シタル事實ヲ拔書シタルモノ
 貨幣贋造者ヲ獲ルモノ
 一 逮捕者ノ手續書
 自己ノ探偵ニヨリ檢舉捕獲シタルカ又ハ逮捕ノ命ヲ受ケ容易ク其處在ヲ知リタルカ及贋造シタル場處貨幣ノ種類其巧拙行使ノ有無捕獲ノ模様其年月日時等ヲ詳記セシム
 一 被告ノ口供
 住處氏名年齢罪トナルヘキ事實及ヒ共犯者氏名等ヲ拔書シタルモノ
 放火或ハ人殺ノ者ヲ獲ルモノ
 一 逮捕者ノ手續書
 自己ノ探偵ニヨリ捕獲シタルカ若シハ逮捕ノ命ヲ受ケ容易ク其處在ヲ知リタルカ燒失シタルカ消止タルカ及人殺ノ場所圖面等詳記セシム
 一 被害者ノ始末書
 放火セラレタル場處消止メタル手續殺サレタル遺族ノ手續及年月日時等ヲ詳記セシム

一 被告ノ口供
 住所氏名年齢放火ノ方法兇器ノ種類罪トナル可キ事實ノ要領及其年月日時等拔書シタルモノ

強盜盜ヲ獲ルモノ其他兇徒探索方及竊盜逮捕ニ尽力シタルモノ

一 逮捕者及探偵者ノ手續書
 自己ノ探偵ニヨリ檢舉シタルカ若クハ逮捕ノ命ヲ受ケ容易ク其處在ヲ知リタルカ犯罪ノ種類場所兇器探偵及逮捕ノ模様其年月日時等詳記セシム

一 被告ノ口供
 住處氏名年齢罪トナルヘキ事實兇器ヲ携帯シタル等拔書シタルモノ

人命ヲ救援スル等其他職務上ニ付功勞アルモノ

一 救助者及有功者ノ手續
 自己ノ檢舉ニ係ルカ或ハ他ノ急報ニ依リ危難ニ臨ンテ何等ノ方法ヲ以テ救護シタルカ何々ニ依リテ尽力シタルカ及其場處年月日時等詳記セシム

但褒章條例ニ依ルヘキモノハ該取扱手續ニ依ル

一 被救者其他保護ヲ受ケタルモノ、始末書
 救援ヲ受ケタル事件ノ顛末原由結果場處及其年月日時等詳記セシム

死傷ニ罹リタル者

一 醫師ノ檢案若クハ診斷書
 致命又ハ負傷ノ原由傷痕深淺輕重長短全癒ノ豫定其年月日時等詳記セシム

一 傷者ノ始末書 徵收スル能ハサ
 負傷ノ原由被告ノ住處氏名兇器ノ種類防禦ノ時間又何々ノ際誤テ何々負傷及場處年月日時等詳記セシム

火附盜賊人殺等ノ蹤跡ヲ訴出タルモノ

一 訴出タルモノ及ヒ逮捕者ノ手續書
 潛匿又ハ逃去逮捕ノ場處及ヒ年月日時等ヲ詳記セシム

一 被告ノ口供
 住所氏名年齢重罪輕罪犯タル証憑ノ有無及ヒ事實ノ要領ヲ拔キ書シタルモノ

第二條 數名ニシテ捕獲又ハ救援シタル場合ニ於テ其功勞ニ差等アリト認ムルトキハ優劣ノ意見ヲ具狀書ニ付シ差出スヘシ

第三條 數名ニシテ數度ニ日時場處ヲ異ニシテ多數ノ同類ヲ捕獲シタル場合等ハ特ニ精査ヲ遂ケ各自ノ手續書齟齬ナカラシムヘシ

第四條 主任ニ於テハ一件書類ヲ審査シ事實確實ナルモノハ速ニ長官ノ裁可ヲ請ヒ犯狀確實ナラスト思料スルモノハ裁判官渡ヲ待テ處分スヘシ

但シ本縣巡查ト他府縣巡查ト戮力捕獲シタルトキハ該縣へ通報ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條 賞狀賞金吊祭扶助療治料等ハ所管警察本分署ヲ經テ本人へ下付スヘシ

○甲第二百六十四號 明治十九年五月十日 警察本署

巡查訓授例別紙ノ通相定ム
 右相達ス

巡查訓授例

第一條 警察署長分署長若シハ其代理官ハ巡查ヲシテ其實務ヲ習熟セシムル爲メ警察ニ關スル法律命令及諸般ノ取締規則其他ノ執務方法中緊要ナル條件ヲ訓授ス

第二條 訓授ハ毎朝點檢交代前ニ於テ之ヲ爲スヘシ其時間ハ三十分間ヨリ少カラザルヘシ

第三條 訓授ノ材料ハ前表記載ノ條件ヲ標準シ該表ハ毎翌月五日限り警部長ヘ差出スヘシ

○警甲第二百六十四號

何	明治何年何月調	何警察署長(又ハ何分署長)官氏名印
一日	警察事務ノ要旨	
二日	巡邏巡察ノ際最注意スヘキ條件	
三日	行狀及心得ノ事	
四日	注意申報ノ心得	
五日	帶剣心得ノ要領	
六日	該地方長官ノ告達ニ係ル取締規則中緊要ナル條件	自何條至何條

第四類

第一

警察構成及例規

七 日	警察ニ關スル前一周日間ノ閉令省令及該地方長官ノ告達類中緊要ノ應問
八 日	集會條例及ヒ之ニ關スル告達中緊要ノ條件 自何條至何條或ハ何年 第何號ノ布告若クハ達
九 日	嘯聚暴動及群集喧嘩ノ警防方心得ノ事
十 日	傳染病豫防規則中ノ要項及檢疫心得 自何條至何條
十一 日	藥品取締規則及之ニ關スル告達中緊要ノ條件 自何條至何條
十二 日	爆發物取締規則中ノ要項 自何條至何條
十三 日	火藥取締規則中主要ノ條件 自何條至何條
十四 日	鉄砲取締規則中ノ要項 自何條至何條
十五 日	警察ニ關スル前一週日間ノ閉令省令及該地方長官ノ告達類中主要ノ條件應問
十六 日	賭博犯處分規則及細則中緊要ノ條件 自何條至何條
十七 日	古物商及質屋條例并其細則中緊要ノ條件 自何條至何條
十八 日	出版條例寫真條例新聞條例緊要ノ條件 自何條至何條
十九 日	度量衡取締規則及米商會社條例中ノ要項 自何條至何條

訓		授		表	
二十日	諸印紙稅規則中緊要ノ條項至何條	廿一日	鳥獸獵規則中ノ要項至何條	廿六日	難破船及漂流物取扱規則中緊要ノ條項至何條
廿一日	警察ニ關スル前一週日間ノ閉令省令及該地方長官ノ告達類中ノ要件應問	廿二日	墓地及埋葬取締規則中ノ要項	廿七日	遺失物取扱規則中ノ要項至何條
廿三日	水災風震等ノ變災ニ關スル心得方ノ要旨	廿四日	人命急變救援方心得ノコト	廿八日	警察ニ關スル前一週日間ノ閉令省令及該地方長官ノ告達類中ノ要件應問
廿五日		廿六日		廿九日	治罪法中巡查ニ必要ナル條項全上
廿七日		三十日		卅一日	刑法中最モ注意ヲ要スヘキ條項全上
廿八日		卅一日			教會購社祭典葬儀等取締方ノ要件

○警甲第三百十八號 明治十九年六月十九日
 秋田警察署土崎出張所職務規程別紙之相通定ム

警察本署

二十年第八號改正

右相達ス

秋田警察署土崎出張所職務規程

第一條 土崎出張所ハ持區内警察巡察一切ノ事務ヲ管理ス

第二條 土崎出張所ハ秋田警察署定員中ヨリ左ノ職員ヲ派遣ス

警部 一人

巡查 十一人

第三條 警部ハ秋田警察署長ノ代理官トシテ所中一切ノ事務ヲ管理シ派出員ヲ監督シ其勤怠能否ヲ署長ニ具狀ス

第四條 警部ハ隨時持區及近傍町村ヲ巡視シ日報ヲ署長ニ呈ス

第五條 警部ハ巡查訓授例ヲ施行ス

第六條 警部ハ其職權又ハ委任ノ條件ニ就テハ其名ヲ署シテ文書ヲ往復スルコトヲ得

第七條 巡查ハ警部補代理一人外勤監督二人外勤八人トス

第八條 警部補代理巡查ハ警部ノ命ヲ受テ事務ヲ分掌ス其事故アルトキハ代理タルコトヲ得

第九條 外勤監督及外勤巡查ハ分テ甲乙二部トス

第十條 警部ハ左ニ掲グル區内ノ條件ハ成規規格ニ照テシテニ處分シテ後署長ニ報告スルコトヲ得

一 秋田警察署直轄内ニ巡查ヲ派遣スルコト

但緊要ノ場合ニ於テハ直轄外ト雖トモ派遣スルコトヲ得

- 二 持区内警邏方法ニ關スルコト
- 但豫テ外勤部長ニ協議スヘシ
- 三 取締ニ屬スル營業頗及成規アル願届ヲ許可スル事
- 四 取締ニ屬スル營業鑑札ト付スルコト
- 五 取締ニ屬スル營業者ヲ監視スルコト
- 六 煙火及マツチ願ニ關スルコト
- 七 發狂人鎖錮願ヲ許スルコト
- 八 免許池内ノ貸座敷及娼妓願ヲ許否スルコト
- 九 衛生警察及檢徽ニ關スルコト
- 十 火防水防ニ關スルコト
- 十一 賭博犯ヲ懲罰三ヶ月料料拾五圓以下ニ處断スルコト
- 十二 佩刀犯者ヲ處分スルコト
- 十三 密賣淫及貸座敷娼妓犯則ヲ處分スルコト
- 十四 違警罪即決ノコト
- 十五 監視ニ關スルコト
- 十六 行政檢視ノコト
- 十七 遺失物又拾物ヲ處分スルコト
- 十八 戸口調査ノコト
- 十九 民事裁判執行ノコト

二十年第八號改正

- 二十 例規ニ依リ經費ヲ支出スルコト
- 第十一條 前條ノ條件ハ持区内ニアラスト雖トモ秋田警察署直轄内ニ起ルモノハ特ニ受理處分スルコトヲ得
- 犯罪ノ告訴告發及其捜査ニ就テモ亦同シ
- 第十二條 司法警察ノ事務ハ治罪法ノ手續ニ從ヒ處分スルモノトス
- 第十三條 出張所ノ持區及處務ノ細則ハ警部長之ヲ定ムヘシ
- 警甲第三百五十二號 明治十九年八月四日 警察本部
- 本縣警察官吏敬禮式別紙之通改正ス
- 右相達ス
- 秋田縣警察官吏敬禮式
- 第一條 警察官及巡查定制ノ服章ヲ着ケタルトキハ上位ノ者ニ對シ敬禮ヲ行フヘシ
- 第二條 敬禮ハ分テ左ノ二種トス
- 最敬禮
- 姿勢ヲ正シ佩劍ヲ垂下シ左手ヲ以テ劍ノ柄頭ヲ握リ右手ヲ以テ帽ヲ脱シ袴ノ縫目ニ附若シ體ノ上部ヲ傾グルモノトシ
- 敬禮
- 姿勢ヲ正シ左手ヲ垂レ袴ノ縫目ニ附若シ右手ヲ舉ク中指ヲ帽ノ前疵右側ニ當テ掌ヲ外而ニ向ケ肘ヲ肩ニ齊シクシ敬禮スヘキ人ニ注目スルモノトス
- 巡查警棒ヲ携ヘタルトキ正シク之ヲ左脇ニ挾ミ其他ハ前二項ニ同シ

第三條 行幸行啓ノ時ハ路傍ニ直立シ御旗ノ過ルヲ期トシ(御名代ノトキ)最敬禮ヲ行フヘシ

第四條 皇族ニ對スル禮節ハ前條ニ同シ

第五條 行幸行啓御先驅ノ節ハ乘馬ノ儘帽ヲ脱シ体ヲ前ニ傾グルヲ以テ禮式トス

第六條 拜賀及祭祀ノ節ハ最敬禮ヲ行フヘシ
但帽ヲ左脇ニ挾ミ右手ヲ膝上ニ垂ルヘキモノトス

第七條 本屬長次官及上官(巡查ハ警部警部補以上ヲ云ヒ)ニ對シテハ敬禮ヲ行フヘシ

第八條 各大臣及各國公使其他大禮服ヲ着用シタル高等官ニ對スル禮節ハ前條ニ同シ

第九條 上官敬禮ヲ受ケタルトキハ少シク帽ヲ脱シ答禮スヘシ但帽ヲ脱シ易シカラサレバ右手ヲ舉テ帽ノ前庇ニ及ホスモノトス

第十條 警察官巡查ハ相互ニ敬禮ヲ爲スヘシ
但下班ノ者ヨリ先チ行フモノトス

第十一條 巡查隊伍ヲ爲シ數人連行スルトキハ其引率シタル上官若シクハ前行者ニ限リ敬禮ヲ行フヘシ但最敬禮ヲ行フヘキ場合ハ此限リニアラズ

第十二條 警衛葬式及ヒ囚徒護送ノ際又ハ夜間徽章ノ認識スヘカラサルトキハ場合ニ依リ敬禮ヲ行ハサルモ妨ケナシ

第十三條 巡查上官ニ對シ敬禮スルトキハ必ス三歩前ニ止リ兩踵ヲ揃ヒ之ヲ行フモノトス其言語ヲ交ヘルトキハ敬禮ノ後帽ヲ脱スヘシ
但雨服ヲ着ケタルトキハ此限ニ在ラズ

第十四條 官署室内ニ入ルトキハ總テ脱帽スヘシ
但下班ノ者ノ室内ニ入ルトキハ答札ノ後若帽スルモ妨ケナシ

第十四條 室内ニ於テハ直立シテ体ノ上部ヲ傾クル以テ敬禮トス但上官ノ答禮ハ領スルニ止ム

第十六條 廳府縣警察官及巡查定制ノ服章ヲ着ケタルモノニ行逢フタルトキハ本則ニ準シ敬禮ヲ行フヘシ

第十七條 一般人民ヨリ敬禮ヲ受ケタルトキハ答禮ヲ爲スヘシ
○警甲第三百五十四號 明治十九年八月四日 察警本署
本縣警察官吏服裝規則別紙之通則定ス
但本則第二章ハ明治二十年一月一日ヨリ施行ス

秋田縣警察官吏服裝規則

第一章 正裝

第一條 正裝トハ成規(明治十七年第十二號同八年)ニ依リ相當ノ服裝ヲ爲シ帶劔スルヲ云フ

第二條 正裝ハ大禮服及通常禮服ニ適用スルモノトス

第三條 巡查ハ平常ノ勤務ニ正裝ヲナスヘシ
但帶劔セサルトキハ警棒ヲ携帯スルモノトス

第二章 零裝

第四條 零裝トハ成規(明治十八年内務省)ニ依リ相當ノ服裝ヲ爲シ帶劔スルヲ云フ
(甲第三十四號達)

第五條 零裝ハ平常勤務ニ用ヒ且ツ通常禮服ニ適用スルヲ得但禮服ニ適用スルトキ及非常ノ際ハ正帽ヲ用ユルモ妨ナシ

第三章 外套帽履及肩料

第六條 外套肩掛ハ雨雪防寒ノ爲メ之ヲ用ユルモノトス

但肩掛ヲ着スルトキハ外勤監督ニ於テ一定ノ命ヲ下スヘシ

第七條 外套ノ方携帶ハ隊伍ヲ率ヒタルモノ及巡查ハ之ヲ卷キ其兩端ヲ結束シ左肩ヨリ腋右ニメ斜ニ纏絡スルモノトス

第八條 外套肩掛ハ夏服着用期限内ハ夜間及降雨ノ外用ユヘカラス

第九條 外套ヲ着セスシテ便宜肩掛ノミヲ用ユルシトヲ得

第十條 外套又ハ肩掛ヲ着セスシテ帽ノ雨覆ヲ用ユヘカラス

第十一條 外套ハ雨雪ノ外日出ヨリ日没マテ其襟ヲ折り着用スヘシ但鄉村巡回等ノ節ハ此限ニアラス

第十二條 積雪泥濘ノ節ハ外套ノ裾ヲ前面ノ釦ニ掛テ進行スルモ妨ケナシ

第十三條 帽日覆ハ夏服着用期限内ニ限り用ユルモノトス

第四章 佩劍警棒及靴

第十四條 劍ハ柄頭ヲ前ニシ左腹部ニ垂下シ又ハ左手ニ提ルモノトス

第十五條 外套ヲ着用シタルトキハ劍ヲ外部ニ顯スヘシ但雨雪ノ節ハ内部ニ佩帶シ柄頭ヲ外部ニ顯スモ妨ナシ

第十六條 警棒ハ左手ヲ以テ握リ之ヲ其脇ニ挟ミ斜メニ前ニ垂ルヘシ

第十七條 靴ハ一般黒色ヲ用ヒ服務中ハ之ヲ脱スルヲ得ス但鄉村巡回ノ際ハ便宜草鞋ヲ用ルモ妨ケナシ

第五章 雜

第十八條 制服ヲ着シタルトキハ必ス白襟ヲ用ユヘシ

第十九條 制服ヲ着シタルトキハ色付キノ眼鏡杖及手傘頸卷呼吸器ヲ用ユルヲ待ス

第二十條 手袋ハ一定ノ制ナシ但行幸啓行拜賀等ノ節ハ白色ノ外用ユルヲ得ス

第二十一條 制服及佩劍靴等ハ常ニ掃除ヲナシ不潔ナカラシムヘシ

第二十二條 非常ノ際消防ニ從事スルトキハ便宜脱劍スルコトヲ得

○廳令第廿八號 明治十九年十二月三日

警察本部長專行條件別紙之通相定ム

警察本部長專行條件

第一條 警察ノ事務左ニ掲クル條件ハ本部長ニ特任シテ專任セシム

一 各署以下ニ分課ヲ命スル事

二 巡查以下ノ進退及懲罰ノ事

三 警部以下ノ除服及歸省療養願ノ事

四 警部以下ヲ管内ニ派遣スル事

五 但急遽ノ場合ハ管外ト雖モ派遣シテ後具狀スルヲ得

六 所務細則ノ範圍内ニ於テ事務執行ノ順序方法ヲ定ムル事

- 七 臨時事務整理ノ爲メ委員ヲ命スル事
- 八 警察署長及分署長ノ任免ヲ裁判所ニ通知スル事
- 九 警部補代理ヲ任免スル事
- 十 巡查ヲ召募スル事
- 十一 行政所罰ニ關スル事
- 十二 銃砲取締規則ニ關スル事
但賭博犯ノ懲罰一年ヲ超ユルモノハ此限ニアラス
- 十三 煙火マツチ製造願ニ關スル事
但新ニ免許商人ヲ認可スルハ此限ニアラス
- 十四 火防組設置ノ事
- 十五 乘合馬車營業願ニ關スル事
- 十六 明治十二年甲第五十八號布達ニ依リ町村非常法ヲ許否スル事
- 十七 氣象報ニ關スル事
- 十八 新聞紙條例取扱訓示ニ關スル事
但第五項ハ此限リニアラス
- 十九 出版禁止ヲ告示スル事
- 二十 諸取調書ノ延期ヲ申請シ又ハ認可スル事
- 二十一 既ニ受理シタル請願ニ對スル指令願ノ事
- 二十二 既ニ發遣シタル文書ニ對スル促問ニ回答スル事

二十年三月一日追加
二十年九月二十八日追加

- 二十三 廳府縣ノ印章ヲ轉致スル事
- 二十四 被服及需用品調達ノ事
- 二十五 被服保存期限內引換ノ事
- 二十六 不用品及官沒品公賣ノ事
- 二十七 一廉金拾圓未滿ノ應舎修繕ノ事
- 二十八 警部警部補ノ舟車馬賃費拂ヲ否許スル事
- 二十九 例規ニ依リ巡查ニ給助金ヲ給與スル事
- 第二條 前條ニ掲ケタル諸般ノ事務ハ職權上知事ノ執行スヘキモノヲ除クノ外總テ本部長之ヲ專行スヘシ
- 第三條 特任ニ依リ處分シタル條件ハ每月考課表ニ登錄シ知事ノ檢閲ヲ受クヘシ但吏員ノ進退ハ其時々開中スルモノトス
- 廳令第三十一號 明治十九年十二月三日 警察本部
- 警察報告例左ノ通相定ム
- 警察報告例
- 第一 警察報告例ハ警察本部及各警察署ヨリ上官若クハ主務官ニ報告スヘキ例目順序ヲ示スモノトス
- 第二 報告ヲ分チテ即報旬報月報季報年報ノ五種トス
- 第三 警察署ニ於テ報告書ヲ發送スルハ左ノ期限ニ依リ警察本部ハ從前定ムル所ニ據ル即報 卽月

旬報

月報季報

修期ノ翌日
翌年一月三十一日

- 第四 報告ノ書式ハ総テ從前定リタル所ニ從フ
 - 第五 警察分署ヨリ警察署ヘ報告セシムル手續ハ所屬所長之ヲ定ムヘシ
 - 第六 機密ニ屬シタルモノ及經費ノ豫算決算ニ關スル報告ハ別ニ定ムル規則ニ從フヘシ
- 廳第四號 明治廿年一月七日 警察本部

但巡查採用手續任用内則撰擧内規ハ竊止ス
巡查採用細則

- 第一條 巡查採用試験ハ巡查教習所ニ於テ之ヲ執行ス
但受験者遠隔ノ地ニ在ル時ハ其ノ執行ヲ所管警察署ニ依頼スヘシ
- 第二條 警察署ニ於テ巡查志願書ヲ受ケタルトキハ其身元ヲ探偵シ採用規則ニ抵觸セサル者ハ直チニ体格検査ヲナシ適合者ト認ムルトキハ書類ヲ添ヘ警察本部ニ送付シ其不適合者及ヒ規則ニ抵觸スルモノハ之ヲ却下スヘシ
- 第三條 巡查ノ体格ハ左ノ各項ニ適合スルモノタルヘシ
 - 一 體質善良ノ者即チ左ニ記載スル等ノ欠所ナキ者
 - 二 四肢完具セサル者但執筆把握ニ差支サル指ノ萎少彎屈強直等ノ類ハ此限リニアラス

二十一年四月一日改定

第四類 第一 警察構成及例規

- 胸腔機關及腹内臟器若シハ皮膚病較著ノ疾病アル者但較著ノ疾病ニアラサルモ全身諸機關ノ機能減衰ノ者亦全シ
服裝又ハ運動ニ不便ナル者
 - 二 贅生物畸形等容貌醜惡ナル者
 - 三 胸圍大約身長ノ半ニ等シク呼吸縮長ノ差一寸以上ノ者
 - 四 兩眼共視力三分ノ二以上ノ者
 - 五 弁色力完全ノ者
 - 六 聽力六尺ノ距離ニ於テ低語ヲ聽識シ得ル者
 - 七 言語應答明瞭ニシテ充分ノ發聲ニ堪ユル者
 - 八 精神完全ナル者即チ精神病及神經病(癲癲癲狂痴狀及舞踏病癩洞等ノ疾病)ナキ者
- 第四條 巡查教習所ニ於テハ試驗期日ヲ定メ其問題ヲ作り受験者遠隔ノ地ニ在ルトキハ所管署長ニ送付シ試験ノ施行ヲ依頼スヘシ
- 第五條 試験ハ教官又ハ所管署長ヲ以テ主任トス
但受験者一人ナル時ハ所長又ハ次席ノ署員ヲ參列セシムヘシ
- 第六條 警察署長ハ受験者ノ成績ヲ教習所ニ送付シ教官ハ受験全員ノ成績及體格検査書ヲ審案シテ検査表ヲ作り警察本部長ノ裁可ヲ經テ及第落第ヲ定ムベシ
- 第七條 試験方法ハ總テ筆問筆答セシム其科目時間ヲ定ムル左ノ如シ
- 一 法律學 二 問 一時間
 - 三 刑法治罪法ニ依リ問題ヲ課ス

二十一年四月一日改定
全上

二 警察學 二問 一時間
 行政司法警察ノ事項ニ付問題ヲ課ス
 三 歴史 二問 一時間
 本邦有名ノ事蹟人物及山何等ニ付問題ヲ課ス
 四 作文 一問 一時間
 仮名交リノ記事又ハ論說ヲ作ラシム但一行二十字十行以上
 五 算術 二問 一時間
 四則應用及比例各一問ヲ課ス
 六 寫字 貳拾分
 半紙一枚ニ楷行各四字トス
 第八條 試験ノ得點最多數ハ一科毎ニ十點トス合點三十六點以上ヲ及第トシ未滿ヲ落第トス
 第九條 試験ニ及第シタルモノハ巡查教習所ニ入學セシメ別科ヲ卒業シタル後之ヲ採用ス但試験ニ及第シ一ヶ年以上警察官ヲ奉職シタル履歴アルモノハ直チニ採用スルヲ得
 第十條 警部警部補ハ特ニ巡查ヲ撰舉スルヲ得但任用ノ手續ハ志願人ト同一ナリトス
 ○應第二十八號 明治二十年二月三日 警察本部
 巡查點檢規則別紙ノ通相定ム
 但明治十二年四月一日達當直巡查點檢法ハ之ヲ廢止ス

巡查點檢規則
 第一條 各警察署及分署ニ於テハ毎朝巡查ノ點檢ヲ執行シ其姿勢及被服屬具ヲ檢閱スヘシ
 第二條 點檢場ニ於テハ兼テ巡查ノ訓授例ヲ執行スヘシ
 第三條 點檢ハ警察署長又ハ分署長之ニ監臨シ司令官之ヲ執行スルモノトス
 第四條 警察署ニ於テハ執行務科長ヲ以テ司令官トシ外勤監督ヲ以テ嚮導トシ分署ニ於テハ分署長司令官ノ職務ヲ兼行ス但秋田警察署ハ外勤部長ヲ以テ司令官トス
 第五條 點檢時限ニ至レハ司令官ハ整列セシムル爲メ嚮導ヲシテ呼子笛ヲ吹カシムヘシ
 第六條 前條ノ相圖ニ依リ嚮導以下ハ速ニ點檢場ニ參集シ司令官ノ前ニ前後二列(員少ナルトキ)ニ整立シ嚮導ハ其右翼(三名以上アル)列ニ後列ハ手ヲ伸シテ其指端前列ノ肩ニ達スルヲ度トシ距離ヲ取ルヘシ
 第七條 司令官ハ整列概ネ成ルヲ見テ順次左ノ號令ヲ下スヘシ
 一 氣ヲ付ケ
 此令ニテ巡查ハ一齊ニ姿勢ヲ正シ兩手ヲ伸シテ「スボン」ノ縫目ニ垂レ嚴肅ニ直向スヘシ
 二 右ヘ準ヘ
 此令ニテ列員ハ額ヲ右斜ニ向ケ眼ヲ嚮導ニ注キ同時ニ右手ヲ握リ第一關節節第一關節ノ部分ヲ助骨ノ上ニ當テ以テ一直線ニ列ヲ正シ左右ノ距離ヲ取ルヘシ
 右翼嚮(分署ニ於テ)列員ノ整頓スルヲ見テ左ノ命ヲ發スヘシ
 司令官

直レ

此令ニテ列員ハ頭ヲ正面ニ復シ右手ヲ垂下スハシ若シ不整列ナルモノアルトキハ
嚮導ハ何番前後ノ令ヲ發スヘシ

司令官ハ列員ノ整頓シタルヲ持チ警察署長ニ申報シ其監臨ヲ受クヘシ

三 禮式

四 番號
此令ニテ前列員ハ右端ヨリ頭ヲ左斜ニ向ケツ、番號ヲ唱ヘ左端ニ至ル後列員亦全

五 後列後ヘ

此令ニテ後列嚮導ハ四步後ヘ退步直立シ標準ヲ取ルヘシ

六 開ケ

此令ニテ後列員ハ頭ヲ右斜ニ向ケツ、四步後ヘ右翼ニ準シ開列スヘシ
後列右嚮導(分署ニ於テ)ハ列員ノ整頓スルヲ見テ左ノ令ヲ發スヘシ

直レ
此令後列員ハ頭ヲ正面ニスヘシ

司令官ハ列員ノ前面及後面ヲ回り左ノ各項ヲ検査スヘシ

- 一 服裝(劍帽靴鈕)
- 一 頭髪及鬚髯
- 一 官給品保存手入ノ精粗

七 嚮導二步前ヘ

此令ニテ前後兩例ノ嚮導ハ二步前ヘ進ミ斜ニ各例ニ向テ直立シ司令官ノ號令アル
毎ニ携帶品ヲ検査ス但確認シ難キトキハ例前ヲ通過シ點查スヘシ

八 手帖 收メ

九 捕繩 收メ

十 呼子笛 收メ

十一 嚮導元ヘ
此令ニテ嚮導ハ元ノ位置ニ復スヘシ

十二 後例詰メ進メ

此令ニテ後例ハ一齊ニ四步前ニ進ミ舊位ニ復スヘシ

於是司令官ハ當番巡查ニ當日勤務ノ場所ヲ命ス終テ警察署長又ハ分署長ハ訓授例ニ依
リ訓授ヲ執行シ且ツ當日職務上緊要ノ事項ヲ命令ス

十三 禮式

十四 分レ進メ

此令ニテ列員一齊ニ左回シ勤務ニ服スヘシ

○廳第四十九號

明治廿二年二月廿八日

警察本部

巡查檢閱條規別冊ノ通改定ス

巡查檢閱條規

第一條 檢閱ハ巡查職務ノ勉否技能ノ優劣ヲ查覈シ知事ノ詮定ニ供スルモノトス

第二條 檢閲ハ毎年一回春秋二季ノ内ニ於テ之ヲ行フ
 第三條 管内ヲ二分シテ檢閲部トシ各部ニ檢閲官一名ヲ派遣ス
 第一部 秋田能代大館花輪四警察署所管
 第二部 大曲横手湯澤本莊四警察署所管
 第四條 檢閲官ハ警部ヲ以テ之ニ充ツ期ニ在テ知事之ヲ特任ス
 第五條 檢閲ノ法職務ノ勉否ハ考績書ニ據リ技能ノ優劣ハ試験ヲ經テ檢閲官之ヲ審判ス
 第六條 試験スヘキ項目左ノ如シ
 一 學術
 警察法 刑法 治罰法
 二 武術
 擊劍 柔術
 三 姿勢
 第七條 警察署長ハ所属巡查ノ檢閲ニ陪席シ檢閲官ノ商議ヲ受リ
 第八條 警察署長ハ所属巡查ノ考績書ヲ作り檢閲官ニ提出スヘシ
 第九條 檢閲官ハ檢閲成績書ヲ作り考績書ヲ付添シ知事ニ復命スヘシ
 第十條 檢閲施行ノ方法細則ハ警部長之ヲ定ムヘシ
 ○第五十三號 明治廿年三月二日
 警察規程別紙ノ通相定ム
 警察本部

視察規程

第一條 警察本部ヨリ派遣スル視察ヲ分テテ定期視察臨時視察トス
 第二條 定期視察官ハ知事特撰ノ警部ヲ以テ之ニ充テ臨時視察官ハ主務ノ課員ヲ以テ之ニ充ツ
 第三條 視察管區ヲ分テテ左ノ四方面トス
 第一方面 秋田能代警察署所管
 第二方面 大館花輪警察署所管
 第三方面 大曲横手警察署所管
 第四方面 本庄湯澤警察署所管
 第四條 定期視察官ハ毎年一回之ヲ派遣シ警察執行ノ舉否及事務辦理ノ整否ヲ監察スルモノトス
 第五條 定期視察官ハ警察上ノ處分法規ニ背キ又ハ事理ニ適セサルトキハ之ヲ訂正セシムルコト得
 第六條 臨時視察官ハ隨時之ヲ派遣シ指命セラレタル事項ニ付視察スルモノトス
 第七條 視察官ハ前三條ニ掲グルノ外民情風俗衛生諸營業及法律規則ノ効果等ヲ視察スヘシ
 第八條 視察官ハ歸廳ノ後一周間以内ニ復命書ヲ作り警部長ヲ經ニ知事ニ呈出スヘシ
 ○廳第百八十五號 明治二十年七月十九日
 警察召集條規左ノ通り相定ム
 警察本部

警察召集條規

- 第一條 本規ハ非常ノ事變ニ際シ其緩急ニ應ジ警察官吏ノ全部又ハ幾部ヲ召集スルノ方法ヲ規定スルモノトス
- 第二條 召集ヲ別テ左ノ二種トス
 - 一 全管召集
 - 二 方面召集
- 第三條 全管召集ハ管内全部ヲ召集シ方面召集ハ一警察所管又ハ數警察所管ヲ召集スルモノトス
- 第四條 召集ヲ要スルトキハ警察本部長須要ノ人員ヲ按定シ電報又ハ飛信ヲ以テ警察署長ヘ左ノ命令ヲ發スヘシ
 - 一 其所管全員ヲ某地ニ召集ス
 - 一 其所管何人ヲ某地ニ召集ス
- 第五條 前條第一項ハ警察署分署ノ全員ヲ召集シ第二項ハ其指定スル人員ヲ召集スルモノトス
- 第六條 全員召集ノ場合ト雖トモ警察署分署ハ守衛上須要ノ吏員ヲ殘留セシムヘシ其人員ハ別ニ之ヲ定ム
- 第七條 村落派出所ハ何レノ場合ニ於テモ召集セサルモノトス但警察署長分署長ハ必要ト認メサル派出所ノ配置ヲ停止シ其署ノ補欠員トナスコトヲ得
- 第八條 警察署長分署長ハ平常所属警察官吏ノ召集令狀ヲ作り其配布線路ヲ定メ各自ノ

第四類 第一 警察構成及例規

- 住所ニ從ヒ順序ニ之ヲ叙列シ置クヘシ
- 但住所氏名ノ變更アルトキハ其都度之ヲ校正スルモノトス
- 第九條 召集ノ命令警察署ニ到達シタルトキハ在署上班ノ吏員直チニ之ヲ分署長ニ傳達シ同時ニ非番官吏ノ令狀ヲ當番巡查ニ交付シ非番官吏ニ傳達セシメ其傳達ヲ命セラレタル巡查ハ最初出會シタル巡查ニ令狀ノ幾部ヲ分布シ更ニ之ヲ傳達セシムヘシ但本人不在ナルトキハ家族ニ交付シテ其出先ニ其傳達セシムルモノトス
- 第十條 分署ニ於テ召集ノ傳達ヲ受ケタルトキハ前條ノ手續ニ從ヒ令狀ヲ傳達スヘシ
- 第十一條 令狀ノ傳達ヲ受ケタル官吏ハ即時ニ其所屬警察署又ハ分署ヘ出頭スヘシ
- 第十二條 警察署長分署長ハ當番若シハ非番官吏ヲ合セ召集ニ應セシムヘキ人員ヲ得タルトキハ速ニ召集命令ニ指定スル地ノ警察署又ハ分署其在ラサル地ハ戸長役場ニ向ヒ進發セシムヘシ但命令到達後三十分ヲ經過シタルトキハ全數ニ滿タスト雖トモ先ツ其幾部ヲ進發セシムルモノトス
- 第十三條 召集地ニ進行スル警察官吏ハ便宜隊伍ヲ編制シ上班者ヲ以テ指揮官トスヘシ進行中甲乙ノ隊伍出會シタルトキハ之ヲ合シテ隊トス其上班者指揮官タルヘシ
- 第十四條 警察署長ニ於テ召集ヲ要スル事變アルトキハ速ニ警察本部長ニ急報スヘシ其事變最モ緊急ナルトキハ其所管内ノ方面召集ヲナシ本部長ニ報告スルコトヲ得但此場合ニ於テハ第九條第十條ノ手續ニ從フヘシ
- 第十五條 召集ノ解散ハ警察本部長之カ命令ヲ發スルモノトス但前條ノ場合ニ於テハ

警察署長之ヲ發スルヲ得

第十六條 召集令狀ニ應セス又ハ遲參シタルモノハ警察署長又ハ分署長其事由ヲ審問シ
狀ヲ具シテ本部長ニ開申スヘシ

○廳百八十八號 明治二十年七月二十九日 警察本部

巡查ハ滿四拾年ヲ以テ退職年限トス

但身體強壯之者ハ所屬警察署長上申ニ依リ滿四拾五年迄在職セシムルヲアルヘシ

○廳第三十四號 明治二十一年三月二十四日 警察本部

巡查教習所規則別紙ノ通改定ム

(別紙) 巡查教習所規則

第一條 巡查教習所ハ新募巡查ヲ教習シ兼テ巡查採用試験ヲ執行スル所トス

第二條 巡查教習所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長 一人

教官 一人

助教 一人若クハ二人

事務員

舍監

第三條 所長ハ秋田警察署長ヲ以テ之ニ充テ所中事務ヲ總管シ教規ヲ執行ス

第四條 教官ハ警官練習科卒業ノ警部又ハ警部補ヲ以テ之ニ充テ教授ヲ司リ試験ヲ執行
ス

第四類 第一 警察構成及例規

第五條 助教ハ警官練習科卒業ノ巡查又ハ學力相當ノ巡查ヲ以テ之ニ充テ教官ノ職務ヲ
助ク

第六條 事務員ハ所長ノ指揮ヲ受ケ所中ノ記録ヲ管掌ス但教官ヲシテ之ヲ兼掌セシム

第七條 舍監ハ受業生寄宿舎ノ取締ヲ管掌ス
但助教ヲシテ之ヲ兼掌セシム

第八條 教習法ハ新募巡查ヲ受業生トシ警察ノ要領ヲ誦習シ實務ヲ訓練セシム

第九條 教習ノ學期ヲ二月トシ其學科程度ハ別ニ之ヲ定ム

第十條 教習ノ滿期ニ於テ試験ヲ執行シ及第ノ者ハ卒業證書ヲ付與ス其成績殊ニ優等ナ
ル者ハ褒狀ヲ授與スルヲアルヘシ

第十一條 試験シタル者ハ次期ノ修業ヲ命ジ或ハ直チニ退學セシムヘシ

第十二條 教習巡查ハ成規月俸ノ半額ヲ支給シ修業上ニ屬スル一切ノ費用ハ自辨トス

第十三條 巡查採用試験ハ隨時ノ須用ニ依リ之ヲ執行シ其規則ハ別ニ定ムルニ據ル

○廳第五十三號 明治廿一年四月五日 第一部 警察本部 收稅部

警察署分署處務細則別冊ノ通改定ス

警察署分署處務細則

警察署

第一條 警察署ニ左ノ職員ヲ置ク

署長 一人

内勤巡查 二人若クハ三人

外勤巡查 若干
豫備巡查 若干
刑事廳 一人
便宜之ヲ置ク

第二條 署長ハ法律命令又ハ特別ノ委任ニ依リ所管内ノ警察事務ヲ執行シ署員ヲ監督ス
第三條 内勤巡查ハ各科ニ属シ書記計算ニ従事ス但便宜外勤ヲ兼務セシムルコトヲ得
第四條 外勤巡查ハ責任區ヲ定メ警邏巡察ニ従事ス其服務方法ハ別ニ之ヲ定ム
第五條 豫備巡查ハ隨時ノ須要ニ依リ外勤又ハ署内ノ雜務ニ従事ス其服務方法ハ別ニ之ヲ定ム

第六條 刑事廳ハ署長ノ命ヲ承ケ警察上ノ探偵ニ従事ス

第七條 巡查ノ監督ヲ補助セシムルカ爲メ第一條ニ掲グル職員ノ外特ニ警部又ハ警部補及監督補巡查ヲ置クコトアルヘシ但内勤事務ヲ兼掌セシムルヲ得

第八條 警察署ノ事務ヲ分掌セシムル爲メ左ノ二科ヲ置ク

書記科
執行科

第九條 書記科ニハ内勤巡查一人執行科ニハ内勤巡查一人若クハ二人ヲ置ク但定員内ニ於テ互ニ兼務セシムルヲ得

第十條 書記科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一 異務順序ニ關スル事項

二十二年二月
月號第十七
號ニテ改定

二	文書ノ收受及發送ニ關スル事項
三	諸營業及行政上ノ願届ニ關スル事項
四	署印ノ管守
五	記録ノ編纂及保存
六	會議ニ關スル事項
七	遺失物及埋藏物ニ關スル事項
八	經費ノ出納ニ關スル事項
九	諸懲罰金過納金及積金保証金ニ關スル事項
十	請願巡査費及獻金寄附金ニ關スル事項
十一	備品需用品給與品貸與品ニ關スル事項
十二	廳舎ノ修繕及掃除ニ關スル事項
十三	小使ノ雇解
第十一條	執行科ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
一	署員ノ配置及進退ニ關スル事項
二	署員ノ名簿及身上履歴ニ關スル事項
三	警邏方法及責任區ニ關スル事項
四	巡查ノ點檢及訓授ニ關スル事項
五	警察上ノ賞與及恩給ニ關スル事項
六	警察上外國人ニ關スル事項

- 七 警察報告及注意報
- 八 安寧警察ニ關スル事項
- 九 衛生警察ニ關スル事項
- 十 風俗警察ニ關スル事項
- 十一 營業警察ニ關スル事項
- 十二 河港警察ニ關スル事項
- 十三 道路警察ニ關スル事項
- 十四 建築警察ニ關スル事項
- 十五 田野警察ニ關スル事項
- 十六 漁獵警察ニ關スル事項
- 十七 司法警察ニ關スル事項
- 十八 違警罪處分ニ關スル事項
- 十九 留置處ニ於テスル刑ノ執行
- 二十 戸口調査ニ關スル事項
- 二十一 監視及囚人送送ニ關スル事項
- 二十二 品觸ニ關スル事項
- 二十三 難破船及漂着物ニ關スル事項
- 二十四 水防火防ニ關スル事項
- 二十五 前項ノ外職權又ハ法律命令ニ依リ當然行フヘキ事項

第十二條 高等警察ニ關スル事項ハ前二條ノ分科ニ屬セス署長自ラ掌理スヘシ
 第十三條 秋田警察署ノ會計事務ハ特ニ本部主計課ヲシテ管理セシム
 第十四條 秋田警察署土崎出張所ノ處務細則ハ分署ノ例ニ據ル但委任ノ條件ハ從前定ムル所ニ從フ

分署

第十五條 警察分署ニ左ノ職員ヲ置ク
 分署長 一人
 內勤巡查 一人
 外勤巡查 若干
 豫備巡查 一人
 便宜之ヲ置ク

第十六條 分署長ハ法律命令又ハ特別ノ委任ニ依リ所屬署長ノ監督ヲ承ケ部内ノ警察事務ヲ執行シ署員ヲ監督ス
 第十七條 內勤外勤及豫備巡查ノ服務方法ハ第三條第四條第五條ニ於テ定ムル所ニ據ル但內勤巡查ハ上席員ヲ以テ之ニ充ツヘシ
 第十八條 分署ノ事務ハ分科ヲ設ケス總テ分署長之ヲ管理スヘシ
 第十九條 各官署ヨリ來ル所ノ文書ハ件名日誌(附錄第一號)ニ登錄シ本書欄外ニ番號月日ヲ照記シ署長又ハ分署長ヘ差出スヘシ但シ親展ノ文書ハ封表ニ番號月日ヲ記載スルモノ

トス

第二十條 人民ヨリ提出スル書面又ハ口頭ノ申告願届及警察署分署ニ於テ自ラ各官衙又ハ人民ヘ申報若クハ令達スル事件ハ日誌(付録第一)ニ登錄スヘシ

第二十一條 告訴告發ヲ受理シ又ハ現行犯罪ヲ逮捕シタルトキハ犯罪件名日誌(付録第二)ニ登錄スヘシ

第二十二條 前三條ノ日誌ニ登錄シタル事件ハ一所分ヲ終ル毎ニ其要領ヲ日誌ニ記載シ其所分ヲ明瞭ナラシメ一事件ヲ二個ノ簿冊ニ登錄スヘカラス

第二十三條 日誌ノ登錄ハ警察署ニ於テハ主務ノ内勤巡查(日誌及件名日誌ハ書記科)分署ニ於テハ其内勤巡查ノ責任トス但分署ノ内勤巡查不在ナルトキハ分署長之ヲ兼理スルモノトス

第二十四條 人民ノ申告及願届ハ書面ト口頭トヲ分タス署長又ハ分署長自ラ之ヲ受ケ行政事務所并手續ニ從ヒ處理スヘシ

第二十五條 前條申告及願届ハ成規アル者ヲ除クノ外可成口頭ノ陳述ヲ以テ之ヲ受理シ日誌ニ登錄スルニ止メ書面調成ノ煩勞ナカラシムヘシ

第二十六條 前條ノ事項ニシテ即決ヲ要スルモノハ先ツ處分ヲ終ヘ然ル後日誌ニ登錄セシムヘシ

第二十七條 行政事務ニ付召喚又ハ出頭シタル人民ハ永クモ一時間以上留置クヘカラス若シ期限内ニ所辨シ難キトキハ結了ノ日時ヲ示シ退署セシムヘシ但シ其結了ヲ待マントスルモノハ本文ノ限リニ在ラス

明治二十二年
四月十八日
改定

第二十八條 警察署及分署ニ於テ行政事務ヲ處辨スルハ即決所分ニ屬セサルモノト雖モ當日内ニ結了スヘシ但シ特ニ日時ヲ要スルモノハ豫メ主任ニ於テ其期限ヲ定メ署長又ハ分署長ノ認可ヲ受クヘシ	
第二十九條 事務ヲ所弁スルキハ回議ヲ草シ署長又ハ分署長ノ判決ヲ受クヘシ但成規例格アル事件ハ日誌(付録第一)又ハ本書欄外ニ所分ノ要領ヲ掲記シ判決ヲ受クル等便宜ノ手續ニ從フヘシ	
第三十條 署長分署長ハ毎土曜日ニ於テ各種ノ日誌ヲ點査シ未決ニ屬スルモノアルトキハ速カニ處辨ノ手續ヲナスヘシ	
第三十一條 各所ヘ發送スル文書ハ主務ノ内勤巡查ニ於テ之ヲ淨書シ原稿ト校合シ日誌主務ノ内勤巡查ニ移シ登錄及番號記入ノ手續ヲナシ發送スヘシ	
第三十二條 既決ノ文書ハ保存手續ニ據リ一ケ年毎ニ之ヲ調査シ編纂又ハ廢棄ノ手續ヲナスヘシ	
第三十三條 署中ノ圖書及財産ハ目錄ヲ製シ之ヲ保管スヘシ	

收 受 ノ 部	發 送 ノ 部
第 一 號 何 郡 長 何 郡 何 町 村 何ノ誰篤行ノ件照會 何ノ誰篤行ノ件回答 但戸長上申書添付 但巡查探偵書添付	第 一 號 何 郡 長 何 郡 何 町 村 何ノ誰篤行ノ件照會 何ノ誰篤行ノ件回答 但戸長上申書添付 但巡查探偵書添付

第四類 第一 警察構成及例規

一 敬禮法
 一 操練
 一 擊劍
 一 柔術捕繩

第二條 総テ課業ハ職務上緊要ノ事項ヲ教授シ專ラ實務ニ練習セシム

第三條 警察法規ハ警察上ノ旨趣綱領及諸規則達等ヲ講シ以テ服務ノ準繩ヲ示スモノトス

第四條 現行法律ハ刑法治罪法並ニ其他ノ法律規則中最モ緊要ナル條項ヲ講シ併セテ其實施方法ヲ示スモノトス

第五條 敬禮法及操練ハ姿勢ヲ整ヒ舉動ヲ正シ以テ紀律ヲ立ツルヲ目的トス

第六條 總テ講義ハ受業生自ラ筆記スルモノトス
 但シ時宜ニ依リ教官ニ於テ點檢スルコトアルヘシ

第二章 授業時間

第七條 授業時間ハ毎日七時間以上トス起業終業ノ刻限ハ時季ニ應シ特ニ之ヲ達示スルモノトス

第八條 休暇ハ一般官衙ノ例ニ依ル

第三章 試験

第九條 試験ハ定期卒業ノ二期ニ分チ一月毎ニ之ヲ行フ

第十條 定期試験ハ一學期ノ成績ヲ驗査シ卒業試験ハ全學期ノ成績ヲ檢査スルモノトス

トス

第十一條 試験ハ對策應問ノ二種ニ分チ各科毎ニ之ヲ施行ス

第十二條 試験ノ成績ハ及第落第ノ二種ニ分チ評點一百ヲ以テ定點トス各科評點ヲ平均シ六十點以上ノ者ヲ及第トス其六十點未滿及ヒ一科三十點未滿ノモノヲ落第トス

○應第百二十號 明治廿一年九月八日 警察本部

火防警察規程別紙之通相定ム
 右訓令ス

火防警察規程
 第一章 通則

第一條 警部長ハ管内火防一切ノ事ヲ總判シ其執行ヲ監督ス

第二條 警察署長ハ所管内ノ火防事務執行ノ責ニ任シ指揮係以下ヲ命ス

第三條 火防事務執行ニ付警察署ニ左ノ職員ヲ置ク
 指揮長
 警察署長ヲ以テ之ニ充テ火防組ヲ部署シ副指揮長以下ヲ指揮シ現場一切ノ事ヲ統督ス
 副指揮長
 次席警部警部補ヲ以テ之ニ充テ指揮長ノ指揮ヲ受テ專ラ部署配置ヲ掌リ指揮係以下ヲ監督ス
 指揮係
 各火防組ニ一名ヲ置ク

第十八條

第三條職員ノ外警部警部補ノ近火アルトキハ速ニ現場ニ出張シ指揮長ヲ助ケテ警戒ニ從事シ傍ラ巡查以下ノ勤惰ヲ監督スヘシ

第十九條

火防組出張前又ハ特ニ指揮長ノ命アルトキハ総テノ巡査自ラ消防ニ從事スヘシ

第二十條

警護手ハ左ノ各項ヲ負擔スヘシ

- 一 老幼婦女其他危險ニ懼ル者ヲ救護スルコト
 - 二 家産及文書(官衙及會社)ノ搬出ニ助力スルコト
 - 四 事故ナク出火場ニ群集スル者ヲ制止スルコト
 - 五 搬出シタル家産ノ紛亂ニ流意スルコト
 - 六 飛火ヲ防キ盜偷ヲ警防スルコト
- 警護線ヲ設ケタルトキハ其持場ニ於テ左ニ掲グルモノ、外線内ニ入ラシムヘカラズ
- 一 線内ニ家屋ヲ有スルモノ
 - 二 前項ノ親屬知人ニシテ救護ニ從事スルモノ
 - 三 線内ノ官衙ニ奉職スルモノ
 - 四 線内ノ校舎又ハ會社ニ勤仕スルモノ
- 第二十一條 巡查ハ鎮火ニ至ルト雖トモ指揮長ノ認可ヲ得ルニアラレハ退場スヘカラス
- 第二十二條 休息巡查出場シタルトキハ直ニ上官ニ届出ツヘシ
- 第二十三條 休息巡查疾病其他ノ事故ニ依リ近火ニ出場セサル時ハ其事由ヲ詳記シ翌日所属署長ニ届出ツヘシ

第二十四條 各課職員ハ奉職官署又ハ其近傍ニ出火アルトキハ速ニ出頭スヘシ

○應第二十二號 明治二十二年二月十五日 警察本部

警察官吏配置法及服務規程別冊之通改定シ本年三月一日ヨリ施行ス

(別冊) 警察官吏配置法及服務規程

第一章 通則

- 第一條 執行警察官吏ハ人口ノ多寡ニ據リ事故ノ繁閑及部内ノ廣狹ヲ斟酌シ配置スルモノトス
- 第二條 内勤警察官吏ハ事務ノ繁閑ニ據リ別ニ定ムル處ノ配置法ニ據ル
- 第三條 外勤巡查ハ縣廳所在地ハ人口千五百警察署分署ノ處在地ハ人口二千其他ノ町村ハ人口二千五百乃至三千ニ一人ノ割合ヲ以テ警察署及分署ヘ配置スルモノトス
- 第四條 豫備巡查ハ警察署ハ一人又ハ二人分署ハ便宜一人ヲ置ク但警察署ハ巡查二十人以上分署ハ巡查十五人以上ナルトキハ一人ヲ増置スルコトヲ得
- 第五條 縣廳所在地及左ニ掲グル地方ハ前二條ノ特別配置トシテ巡查一人乃至二人ヲ増置シ執行事務ニ從事セシムルコトヲ得
- 一 人口最モ輻輳シ若クハ惡漢出沒ノ虞アル場所
 - 二 土地廣漠人口配置巡查ニテ實際保護ノ周到シ難キ地方
 - 三 囚人ノ護送最モ煩煩ナル地方
 - 四 前各項ノ外特別ノ事情アル場所
- 第六條 人口配置巡查ハ内勤事務ニ使用スルヲ得ス

第七條 警察署長及分署長ハ第三條ノ人口標準トシ其所管内ヲ數區ニ分チ其一區ヲ外勤巡查一人ノ管區トナスヘシ

第八條 管區ノ配置ハ前條ニ從フヘシト雖實際ノ地形若クハ警邏ノ便否ニ依リ多少人口ヲ増減スルコトヲ得

第九條 管區ノ數ハ人口配當巡查ノ數ト同一ナルヘシ但町村ノ地形ニ依リ一個ノ管區ヲ分轄シ豫備巡查若クハ特別配置巡查ニ分擔セシムルコトヲ得

第十條 所在地ノ人口一區ノ標準數ニ滿テス若クハ端數ノ剩餘ヲ生スルトキハ近接ノ町村ヲ併セ管區ヲ設クルコトヲ得

第十一條 管區ハ人口標準ト大差ナキトキハ可成戸長役場ノ聯合區域ト均一ナラシムルヲ要ス

第十二條 管區ハ警察署及分署所管毎ニ第何區何町村外何ヶ町村管區ト稱シ巡查ノ駐在所ニハ左ノ表札ヲ掲クヘシ

第何號	何町村
何警察署	何郡
(何分署)	受持巡查駐在所

第十三條 警察署長分署長ハ管區ノ巡回線路ヲ設ケ人家アルノ地ハ周到巡邏セシムヘシ但山間僻地ノ小部落ハ特別線路トシ巡邏ノ度數ヲ減スルモ妨ケナシ

第十四條 管區ハ二區乃至五區ヲ以テ一組合トシ組合巡查中ニ一人ノ組長ヲ置キ事變アルトキハ互ニ救援スルノ法ヲ設クヘシ但聯合巡回區ヲ設ケタルトキハ其區域ニ據ルヘシ

第十五條 組長ハ警察署分署ノ令達ヲ組合巡查ニ傳達シ且ツ村落ニ在テハ警察報等ノ配布ヲ取扱フヘシ但配布ノ手續ハ警察署長便宜之ヲ定ムヘシ

第十六條 受持巡查ハ區内ノ戸口調査ヲ執行スヘシ其方法ハ別ニ定ムル所ニ據ル

第十七條 受持巡查ハ區内ノ風土人情地理其他職務上必要ノ事項ハ細大トナク諳知スルヲ要ス

第十八條 巡查其管區内ニ於テ著シキ犯罪其他異常ナルヲ覺知セス又ハ職務上豫メ諳知スヘキ事項ニ付應答スル能ハサルトキハ不注意ノ責ニ任スヘシ

第十九條 巡查管區内ノ事務取扱及勤務ノ心得ハ別ニ定ムル所ニ據ル

第二十條 土崎出張所ノ配置法及服務規程ハ此規則ニ於テ規定シタルモノ、外分署ノ例ニ據ル

第二十一條 此規則ノ細則ヲ設ケ又ハ巡回區受持區及線路ヲ區畫シ若クハ變更セントスルトキハ警部長ノ認可ヲ受クヘシ

第二章 警察署分署所在地勤務法

第二十二條 所在地配置巡查ハ警察署又ハ分署ニ勤務セシムヘシ但秋田警察署ハ其受持管區ニ駐在セシムルモノトス

第二十三條 各自ノ管區ハ規程ノ線路ニ依リ一晝夜間四周以上巡邏セシムヘシ但管區ニ

簡以上アルトキハ數箇ヲ聯合シテ巡行區トシ共同巡回セシムヘシ

第二十四條 前條但書ノ場合ニ於テ時宜ニ依リ晝夜ノ勤務法ヲ異ニシ晝間ハ各自ノ管區ニ於テ戸口調査又ハ視察事務ニ從事シ夜間ハ共同巡回セシムルモ妨ケナシ

第二十五條 巡邏中故ナク線路外ニ出テ又ハ之ヲ缺畧スヘカラス

第二十六條 豫備巡查ハ署長又ハ分署長ノ命令ニ依リ左ニ掲クル職務ニ報スルモノトス

- 一 外勤巡查其他公務ヲ欠キタルトキハ其補助
- 二 裁判所公庭及國庫金取締囚人護送國庫金火藥運搬護衛留置人看守
- 三 令狀執行犯罪人捜査
- 四 各地駐在巡查ヘノ命令又ハ達書ノ傳達
- 五 署内諸般ノ雜務
- 六 前各項ノ外特ニ指命セラレタル事項

第二十七條 警察署長及分署長ハ豫備又ハ外勤巡查ヲシテ往來雜沓ノ場所ニ於テ日時ヲ限リ立番ヲ爲サシムルヲ得

第二十八條 警察署分署及駐在所ニハ巡查勤務日誌ヲ備置キ職務時間及職務中ノ事故ヲ詳記認印セシムヘシ

第二十九條 警察署詰警部警部補二名以上ナルトキハ毎夜一名ツ、輪番宿直シ其一名ナルトキ及分署長ハ督監補巡查又ハ分署上序巡查ト隔夜宿直スベシ但警部又ハ警部補ノ在勤ナキ警察署ニシテ監督補巡查一名ナルトキハ署長及監督補巡查ハ隔夜宿直ヲ爲スヘシ

第三十條 内勤及豫備巡查ハ隔日警察署又ハ分署ニ宿直セシムヘシ

第三十一條 受付巡查退署後ハ警部又ハ警部補及監督補内勤豫備巡查宿直ノ者ヲシテ適宜交替時間ヲ定メ常ニ一名ツ、受付序ニ出勤セシメ兼テ警邏時限五分前ニ警邏員ニ告知セシムヘシ

第三十二條 内勤巡查ノ勤務法ハ別ニ定ムル所ニ據ル

第三章 村落勤務法

第三十三條 村落配置巡查ハ管區内人家稠密ノ地ニ在勤セシメ其宿所ヲ以テ駐在所トス但區内ニ戸長役場アルトキハ可成其所在地ニ駐在セシムヘシ

第三十四條 各自ノ管區内ヲ以テ巡行區トシ規定ノ線路ニ依リ一ヶ月十五周以上區内ヲ巡回スヘシ但特別線路ハ一ヶ月五周ニ減スルコトヲ得

第三十五條 巡回ハ當日内ニ區内ヲ一周巡シ歸處スルヲ要ス其行程ハ線路ノ難易ニ依リ一日四里以上八里以下ナス

第三十六條 區内廣潤ニシテ其線路前條ノ制限ヲ越エルトキハ之ヲ分割シテ二個乃至三個ノ方面ヲ設ケ方面毎ニ巡回スヘキモノトス

第三十七條 方面ヲ設ケタル巡回區ハ第三十四條ニ掲クル巡回周數ヲ減スルコトヲ得但二方面ハ一ヶ月八周三方面ハ一ヶ月六周ヲ下ルヲ得ス

第三十八條 巡回區内ニ便宜立寄所ヲ設ケ巡回ノ序之ニ立寄り其他ノ狀況ヲ視察スヘシ但線路窮尽ノ地ニ在テハ併セテ甲乙管間ノ遞送物ヲ授受スヘシ

第三十九條 立寄及線路窮尽其他樞要ノ地ニ巡回表ヲ置キ巡回ノ都度之ニ認印スヘシ

第四十條 受持巡查ハ季節ニ依リ豫メ巡回發程ノ時限ヲ定メ置キ其發程前及在所ノ日ニ於テ部民ノ願届等ヲ受理スルモノトス但便宜巡回先ニ於テモ之ヲ受理スヘシ

第四十一條 駐在所設置ノ地ハ第三十四條第三十七條ニ掲クル巡回ノ外晝夜各一回以上巡回ヲナスヘシ

第四十二條 受持巡查疾病事故ニ依リ巡回ヲ爲ス能ハサルトキハ組長ニ報告シ組長ハ組合内ニ於テ補助セシムヘシ

第四十三條 駐在所ニハ勤務日誌ヲ備置キ服務時間勤務ノ種別及取扱タル事項巡回シタル町村名等遺漏ナク記載スヘシ但巡回スヘキ方面及出張時間等豫記スルヲ得ヘキモノハ出張前必ス記載スルヲ要ス

第四十四條 管區外ニ出行セントスルトキハ必ス其行先ヲ日誌ニ登錄シ且ツ豫メ戸長役場其在ラサル地ハ隣佑ニ之ヲ告知スヘシ

第四十五條 受持巡查ハ所屬署長又ハ分署長ノ認可ヲ受クルニアラサレハ管區外ニ出ルヲ得ス但公務上時機緊急ノ場合ハ出行シテ後申告スルヲ得

第四章 服務時間及召喚

第四十六條 執行警察官吏ハ賜暇及父母祭日非番ノ外休暇ナキモノトス

第四十七條 警察署長分署長及警察署諸警部警部補ハ勤務時間ヲ定メス常ニ勤務ニ服スルモノトス但事務閑ナル場合ハ便宜自宅ニ於テ休息スルヲ得

第四十八條 巡查ノ服務時間ハ總テ一晝夜八時間ヲ下ルヲ得ス

第四十九條 警察署出張所ノ外勤巡查ハ前條ノ制限ニ從ヒ服務時間ヲ甲乙丙丁ノ四種ハ

分チ順次之ニ服セシムルモ妨ナシ其交替時限ハ警察署長之ヲ定ムヘシ

甲 十二時間以上

乙 八時間以上

丙 十二時間以上

丁 非番

第五十條 分署ノ外勤巡查ハ二名以上ナルトキハ第四十八條ノ制限ニ從ヒ服務時間ヲ甲乙ノ二種ニ分チ隔日之ニ服セシムルモ妨ナシ其交替時限ハ分署長之ヲ定ムヘシ

甲 十二時間以上

乙 四時間以上

第五十一條 監督補巡查二名以上ナルトキ及内勤豫備巡查ハ前條ニ準シ服務セシムルコトヲ得但監督補巡查一名ナル場合ト雖警部又ハ警部補ノ在勤セル警察署ニ在テハ本條ノ例ニ依ルヲ得

第五十二條 第四十九條ノ服務法ニ依リ非番ニ當リタルモノト雖署長ノ命アルトキハ當然出務スヘキモノトス

第五十三條 前條條ニ依リ服務シタル時間及其種別ハ警察署長及分署長ニ於テ一覽表ヲ作り翌月十日マテニ本部長ニ報告スヘシ

第五十四條 處在地配置巡查ハ内勤外勤豫備ヲ問ハス毎日一回警察署又ハ分署へ召集シテ點檢ヲ執行シ且ツ職務上緊要ノ條件ヲ訓授スヘシ其時限ハ警察署長又ハ分署長之ヲ定ムヘシ

第五十五條 村落配置巡查ハ毎月一回警察署又ハ分署ニ召集シテ點檢ヲ執行シ且ツ職務上必要ノ法律命令及執行事務ノ處分ニ付應問又ハ訓授ヲナスヘシ但本文ノ場合ニ於テハ所在地巡查ヲモ班列セシムヘシ

第五十六條 前條ノ召集ハ管區番號ノ奇偶ニ依リ之ヲ兩別シ半數ツ、召集スヘシ

第五章 監督

第五十七條 警察署長ハ部下一般ノ監督ニ付自ラ其責ニ任スルモノトス

第五十八條 分署長ハ所屬署長ニ對シ其部下ヲ監督スルノ責ニ任スヘキモノトス

第五十九條 警察署詰警部又ハ警部補及監督補巡查ハ署長ノ指揮ニ從ヒ分署ノ上席巡查ハ分署長ノ命ヲ更ケ外勤巡查ノ監督ヲ補助スヘシ

第六十條 警察署長ハ處在地ハ二晝夜一回以上處管内ハ二ヶ月一回以上監督巡視ヲ爲スヘシ但一ヶ月一回以上全町村ヲ視察スルモノトス

第六十一條 分署長ハ處在地ハ一晝夜一回以上其部内ハ毎月一回以上監督巡視ヲ爲スヘシ

第六十二條 警察署詰警部又ハ警部補ハ處在地ハ一晝夜一回以上直轄内ハ毎月二回以上巡視ヲ爲シ外勤巡查ヲ監督スヘシ

第六十三條 監督補巡查ハ警察署ノ處在地一晝夜三回以上巡視ヲ爲シ外勤巡查ヲ監督スヘシ但宿直ノ翌日ハ其度數二回ニ減スルコトヲ得

第六十四條 分署ノ上席巡查ハ其處在地ハ一晝夜二回以上其部内ハ毎月一回以上巡視ヲ爲シ外勤巡查ヲ監督スヘシ但宿直ノ翌日ハ其度數一回ニ減スルコトヲ得

第六十五條 監督巡視ハ巡查ノ管區ヲ周到ニ巡邏シ其職務ヲ執行シタルヤ否ヲ監査スルニアリ其概目左ノ如シ

一 服務時間

一 警邏ノ度數

一 戶口調査ノ精粗

一 勤務日誌ノ記載方

一 諸取締規則執行ノ成績

一 部民ニ對スル所爲

一 品行ノ正否

第六十六條 監督巡視ハ順路若クハ逆路ヲ踏ミ或ハ臨時ニ線路ヲ定ムル等監督者ノ便宜ニ依ル

第六十七條 監督巡視ヲ爲シタルトキハ勤務日誌及巡回表ヲ點檢シ認印スヘシ

第六十八條 警察署分署ニハ監督日誌ヲ備置キ監督巡視ノ日時町村及事故等ヲ記載スヘシ

第六十九條 警察署長村落巡回ヲ爲シタルトキハ三日以内ニ其狀況ヲ具シ日誌ヲ作り本部長ヘ開申スヘシ但視察ノ狀況前報ニ異ナラサルトキハ開申スルニ及ハス

第七十條 警察署詰警部又ハ警部補及分署長村落巡視ヲ爲シタルトキハ警部警部補ハ口頭分署長ハ前條ノ手續ニ依リ翌日所屬署長ニ復命シ分署上席巡查ハ口頭ヲ以テ分署長ニ復命スルモノトス但分署長ノ處屬署長ニ於ル復命ハ前條但書ノ例ニ據ル

第七十一條 部内廣漠ニシテ監督ニ不便ナル地方ハ特ニ須要ノ地ヘ監督者ヲ駐在セシムルコトアルヘシ

七十二條 駐在監督者ノ取扱フヘキ事件及勤務法ハ別ニ定ムル處ニ據ル

○秋田縣訓令乙第廿八號 明治二十二年六月十一日

警察本部

今般巡查精勤証書授與規則被定候ニ付右取扱手續別紙ノ通相定ム

(別紙) 巡查精勤証書授與規則取扱手續

第一條 警察署長ニ於テ規則第三條ニ適當スルモノト認メタルトキハ別紙書式ニ依リ具狀スヘシ

分署長ニ於テ前項ノ場合アルトキハ同式ニ依リ所管署長ニ申報スヘシ

第二條 証書授與ノ具狀アリタルトキハ警部長ハ主務者ヲ會シ適否審議ノ上長官ノ裁決ヲ受クヘシ

第三條 証書ハ警部長之ヲ傳達シ又ハ警察署長ヲシテ之ヲ傳達セシム

第四條 証書授與式ハ當該署ノ巡查總員參列セシメ之ヲ執行スヘシ

第五條 規則第六條ニ依リ証書ノ再渡ヲ請フモノアルトキハ所管署長ニ於テ調査ヲ遂テ進達スヘシ

第六條 規則第七條ノ場合ニ於テハ警察署長ハ其情狀ヲ詳悉シ且ツ証書沒收ニ關スル可否ノ意見ヲ付シ警部長ニ具狀スヘシ

分署長ハ前項ノ手續ニ從ヒ所管署長ニ申報スヘシ

第七條 証書沒收ノ具狀アリタルトキハ警部長ハ第二條ノ手續ヲ爲シ長官ノ裁決ヲ受ク

ヘシ

第八條 証書沒收ノ命令ヲ發シタルトキハ所管署長ヲシテ速ニ証書ヲ返納セシム(書式)

巡查精勤証書授與ノ儀具狀

何警察署在勤

巡查 氏 名

右ハ別記ノ如ク行狀方正ニシテ勤務勉勵事務熟達ノモノニ有之候條精勤証書授與相成度此段具狀候也

年 月 日

署 長

長 官 宛

別記

一行狀

素行ノ大要ヲ記スヘシ

一 勤務勉勵

平素勤務上ニ付精勵スルノ狀況ヲ記スヘシ

奉職以來ノ勤務日數又ハ病氣欠勤歸省看護忌引及休暇日數等ヲ掲クヘシ(年別ニ調製シ總計ヲ付スヘシ)

職務上ニ付賞罰アリタルハ其大要ヲ掲クヘシ

一 事務熟達